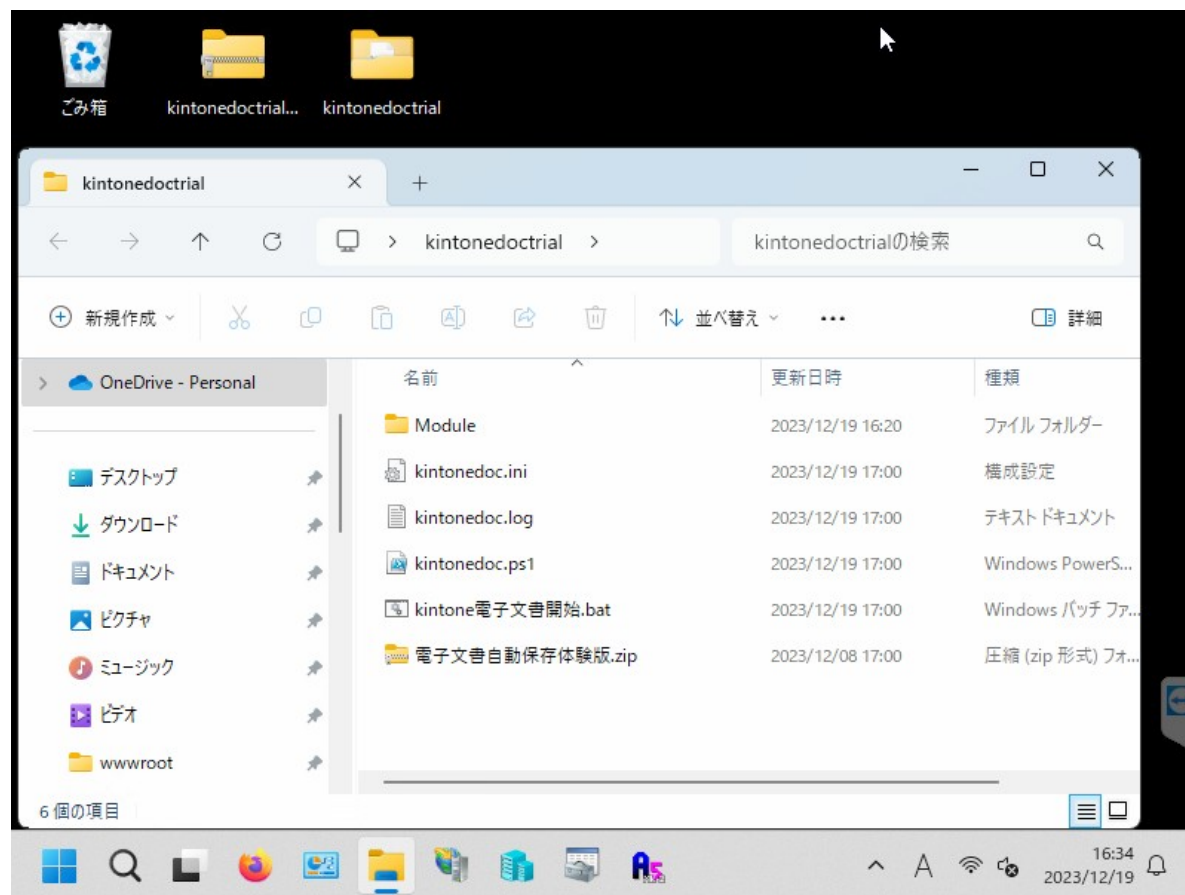


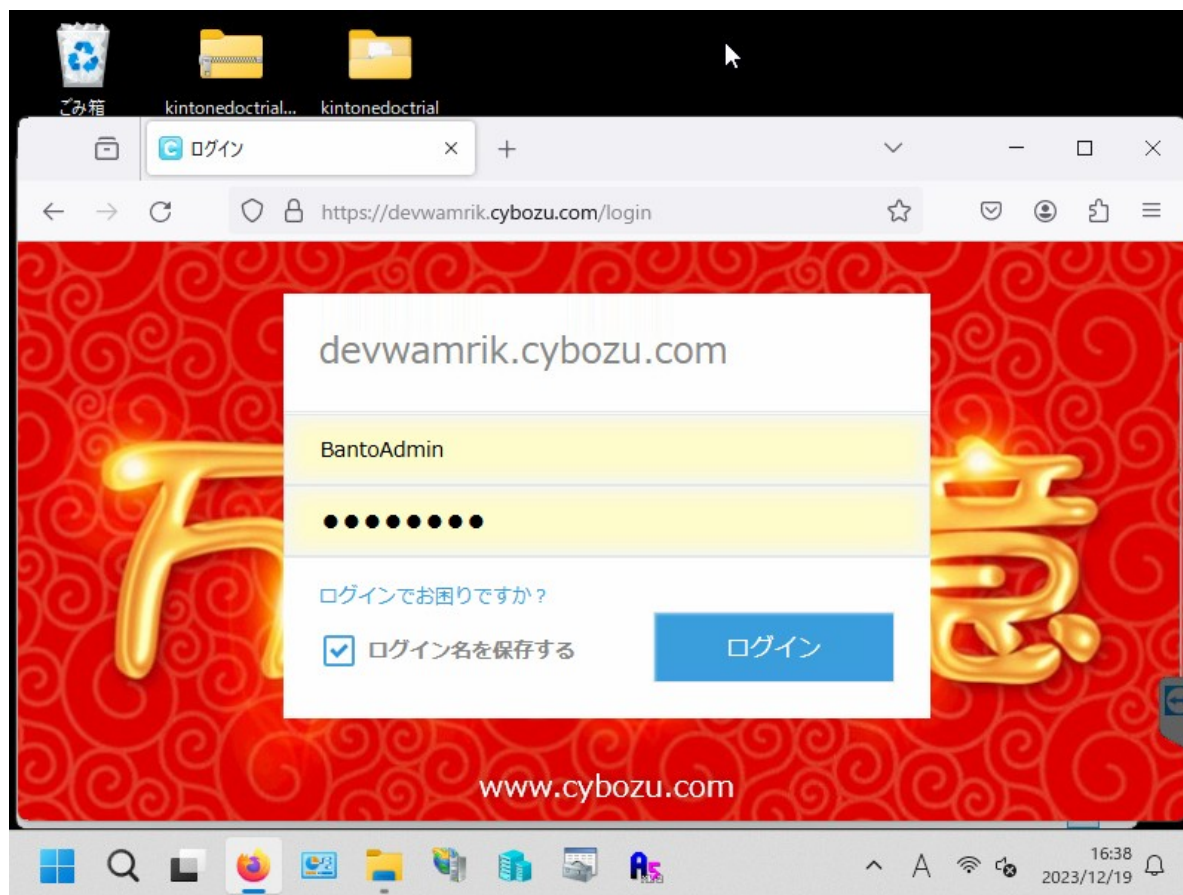
Kintone 電子文書保存 体験版

2023 株式会社電算番頭

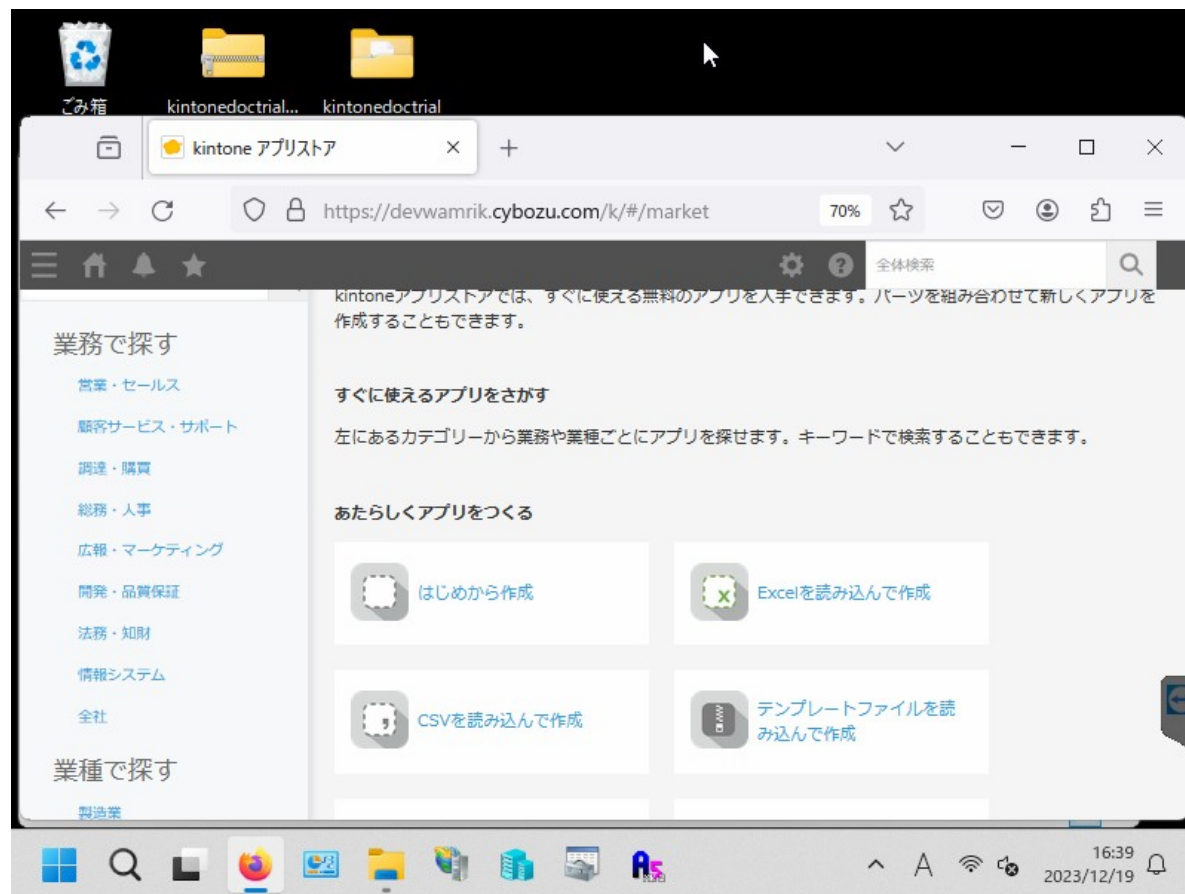
ダウンロードが済んだら展開します



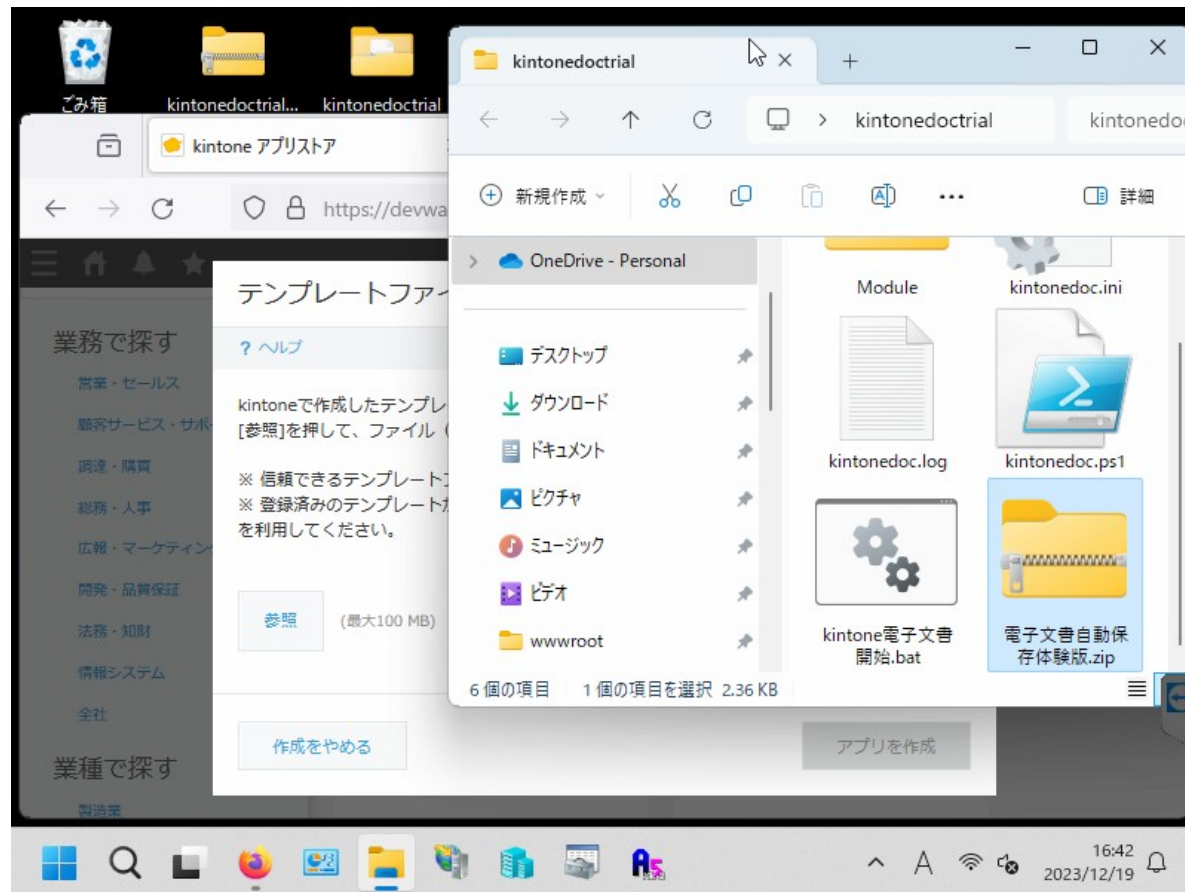
お使いの **kintone**（スタンダードライセンス）にログインし



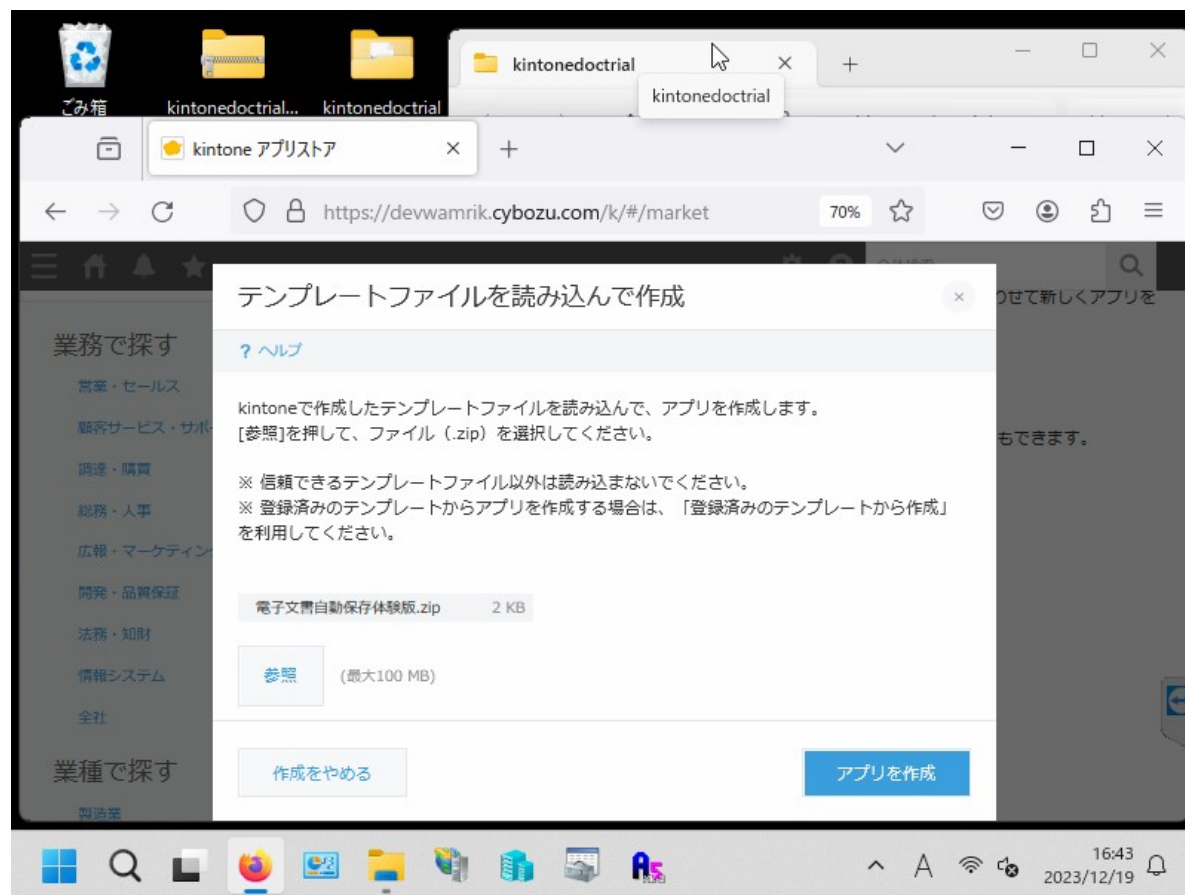
アプリ作成ページを開きます 「テンプレートファイルを読み込んで作成」を選びます



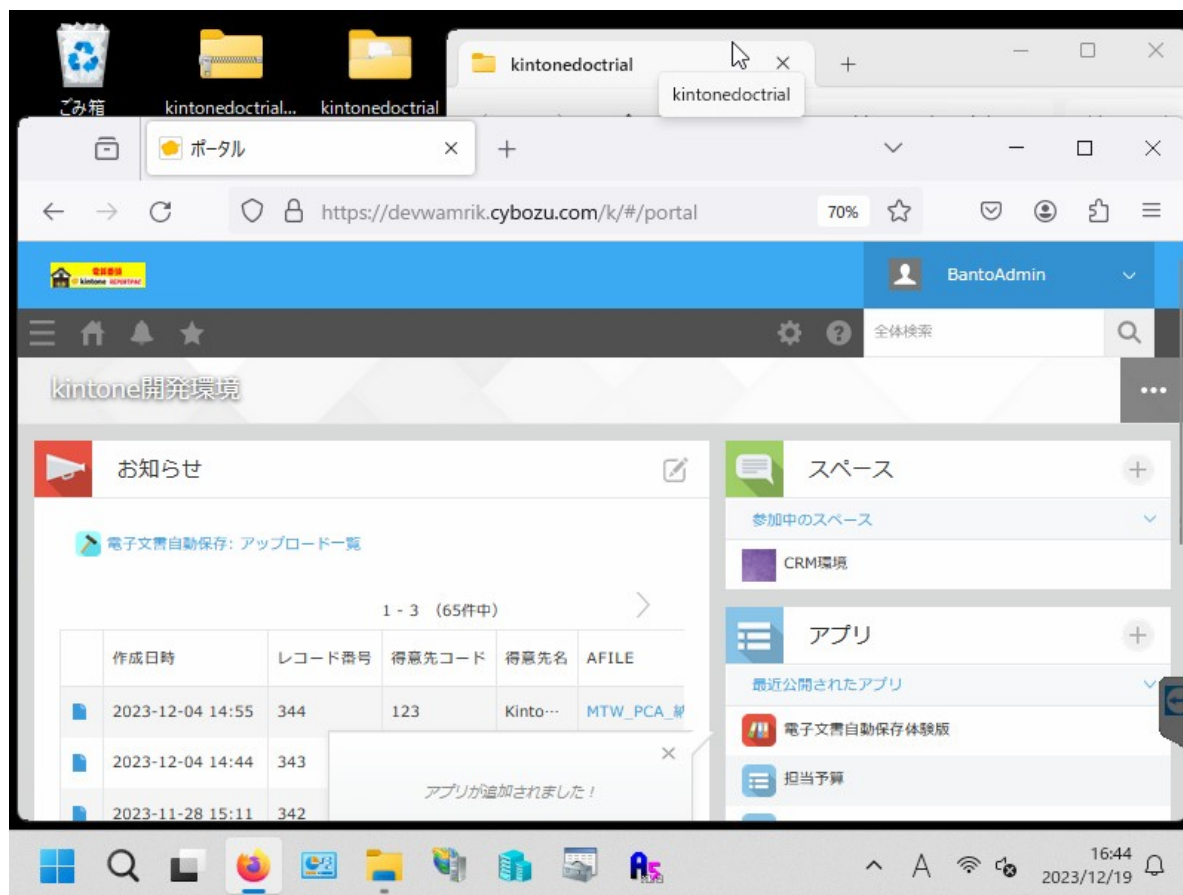
ダウンロードしたファイルから「電子文書自動保存体験版」を
ドラッグし「参照」の上にドロップします



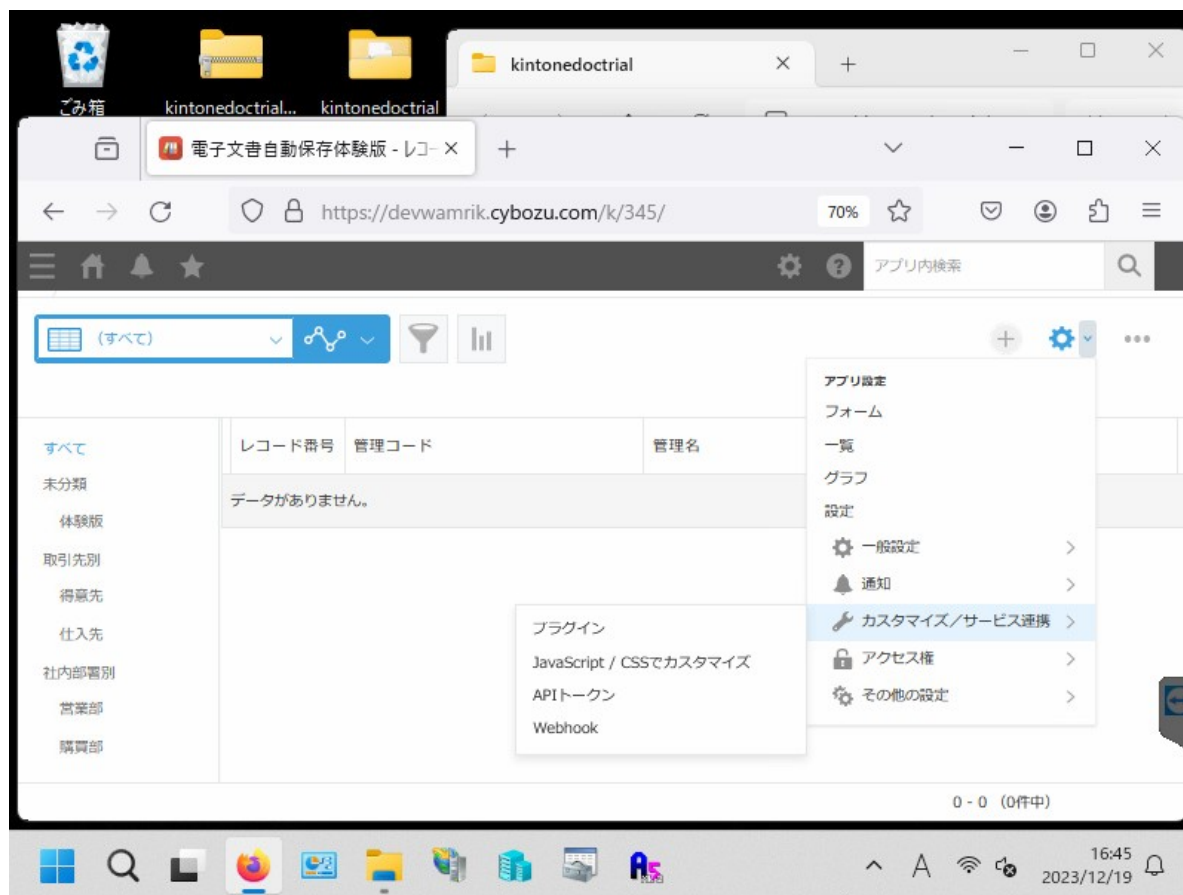
「アプリを作成」



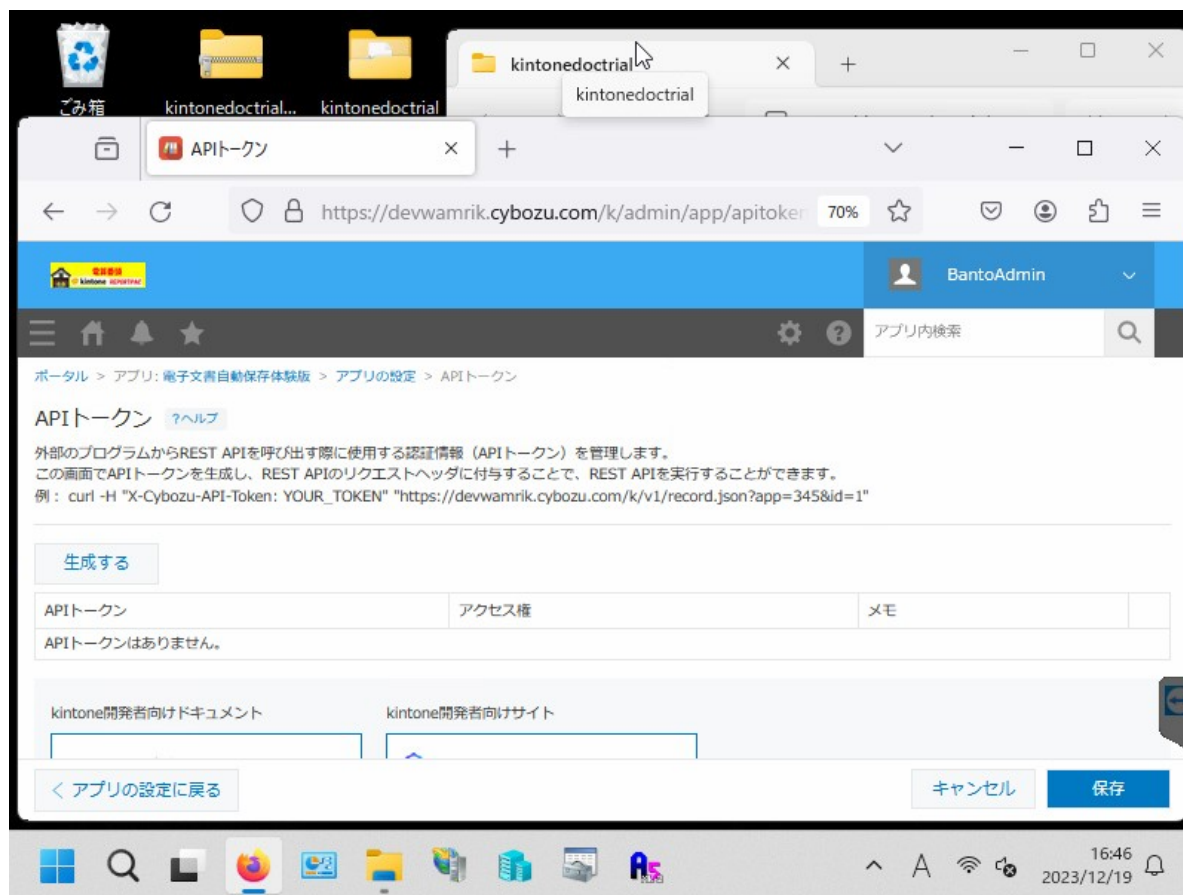
作成されたアプリを開きます



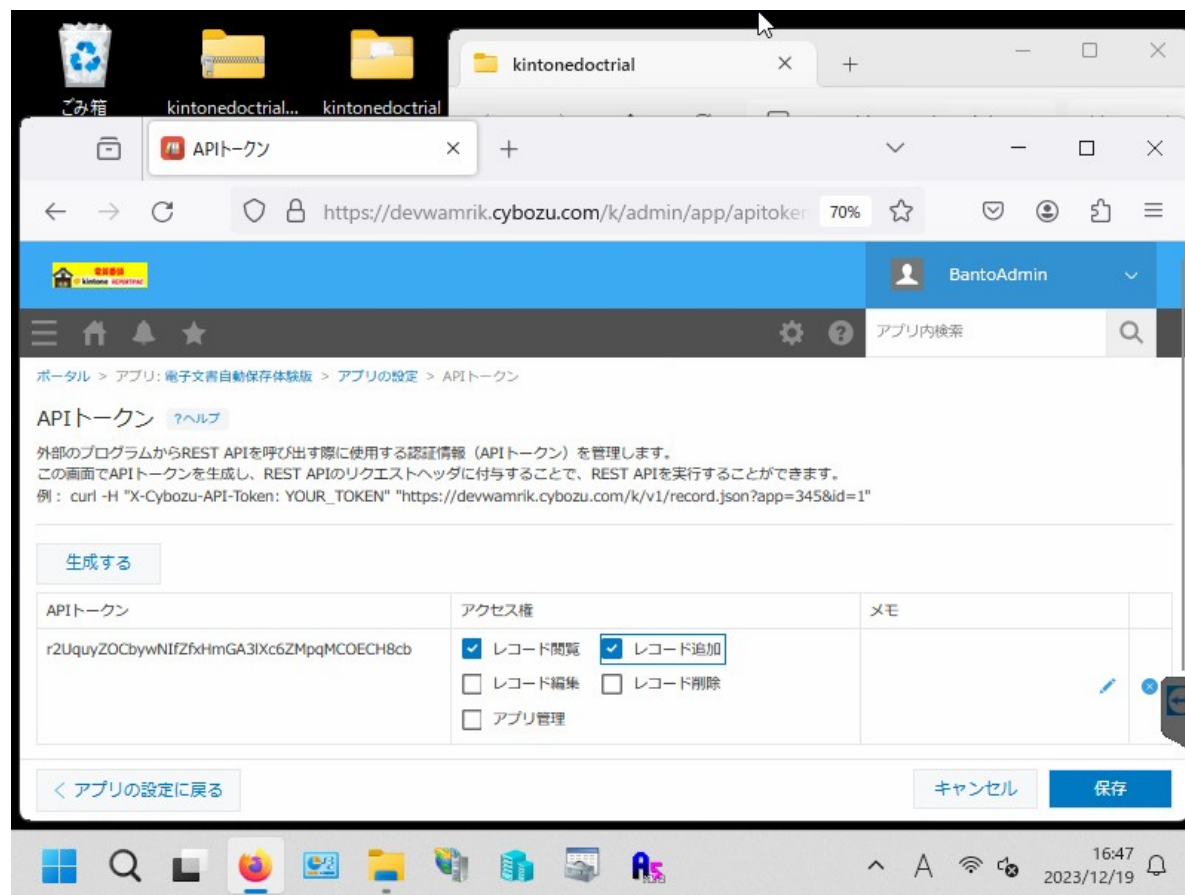
設定の「API トークン」を開きます



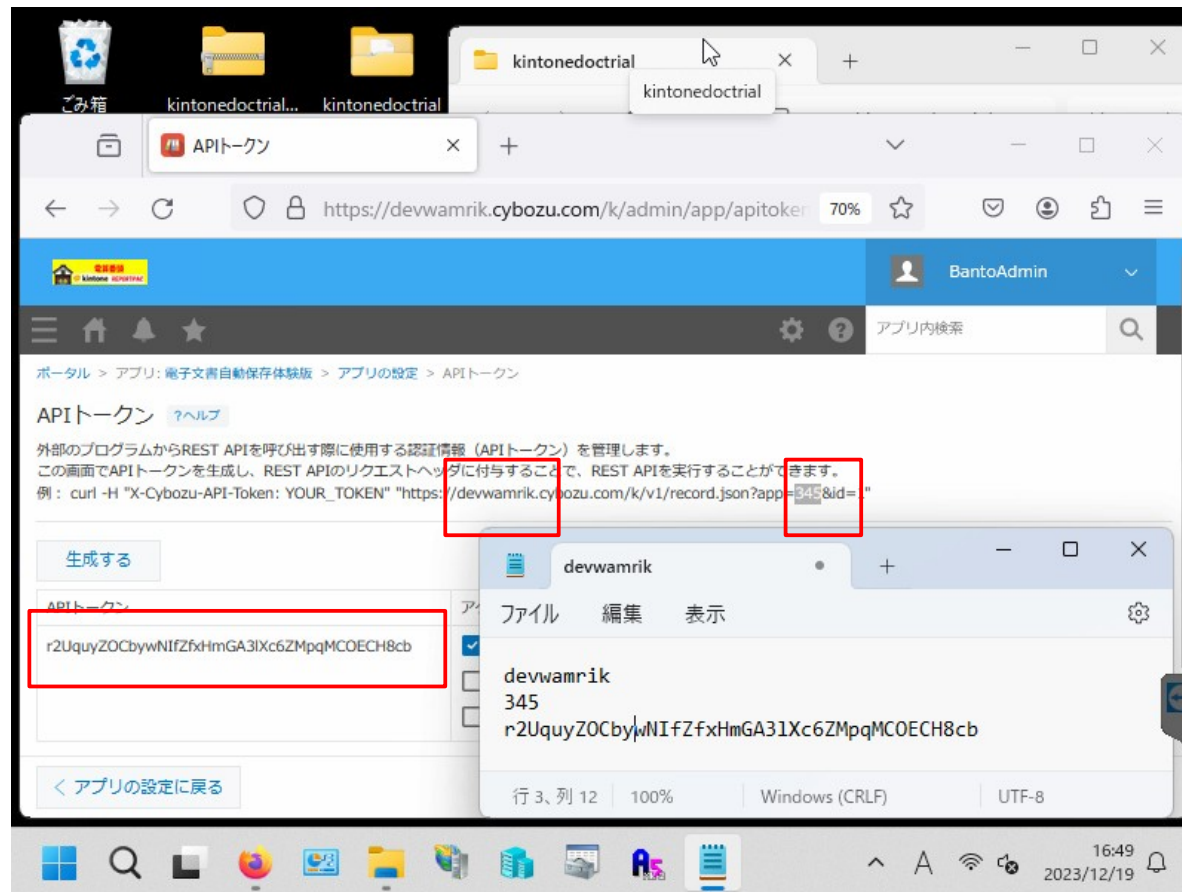
「生成する」



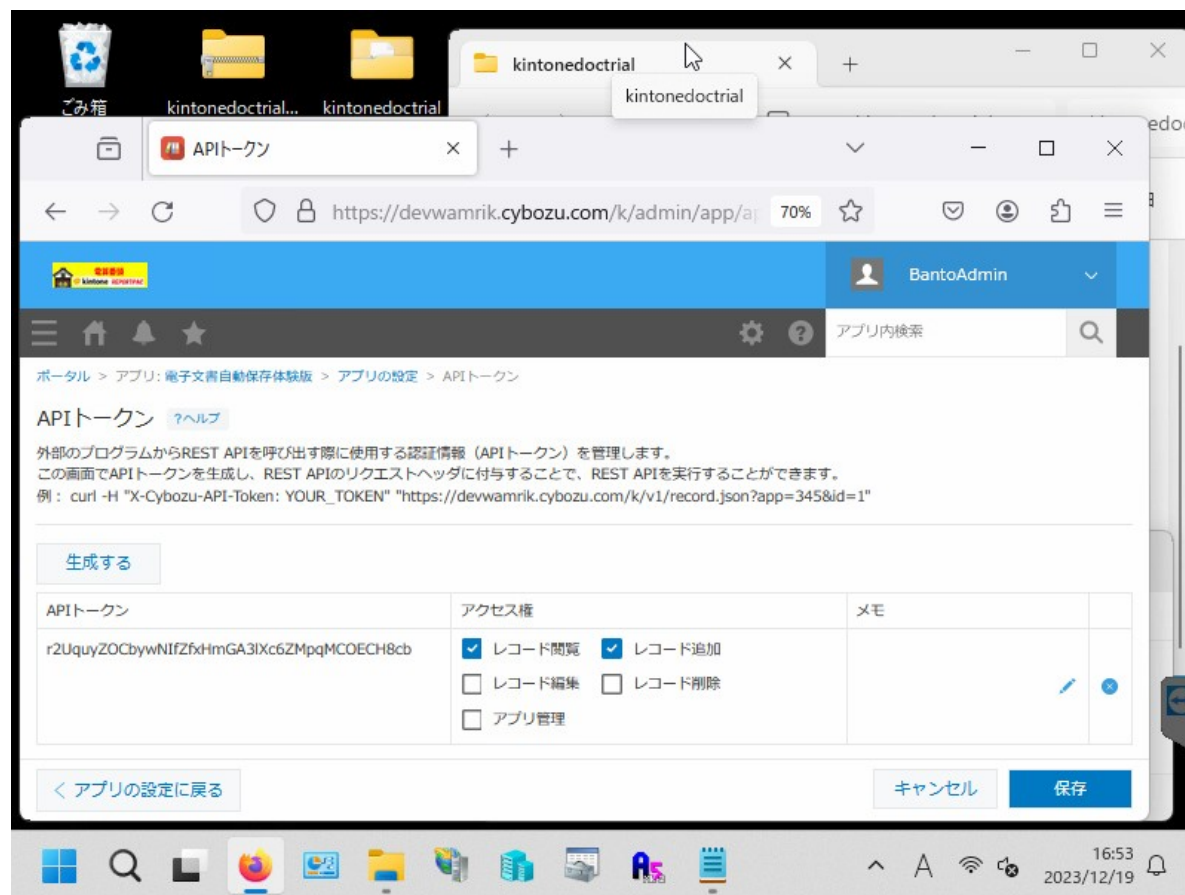
「レコード追加」にチェックを入れてください



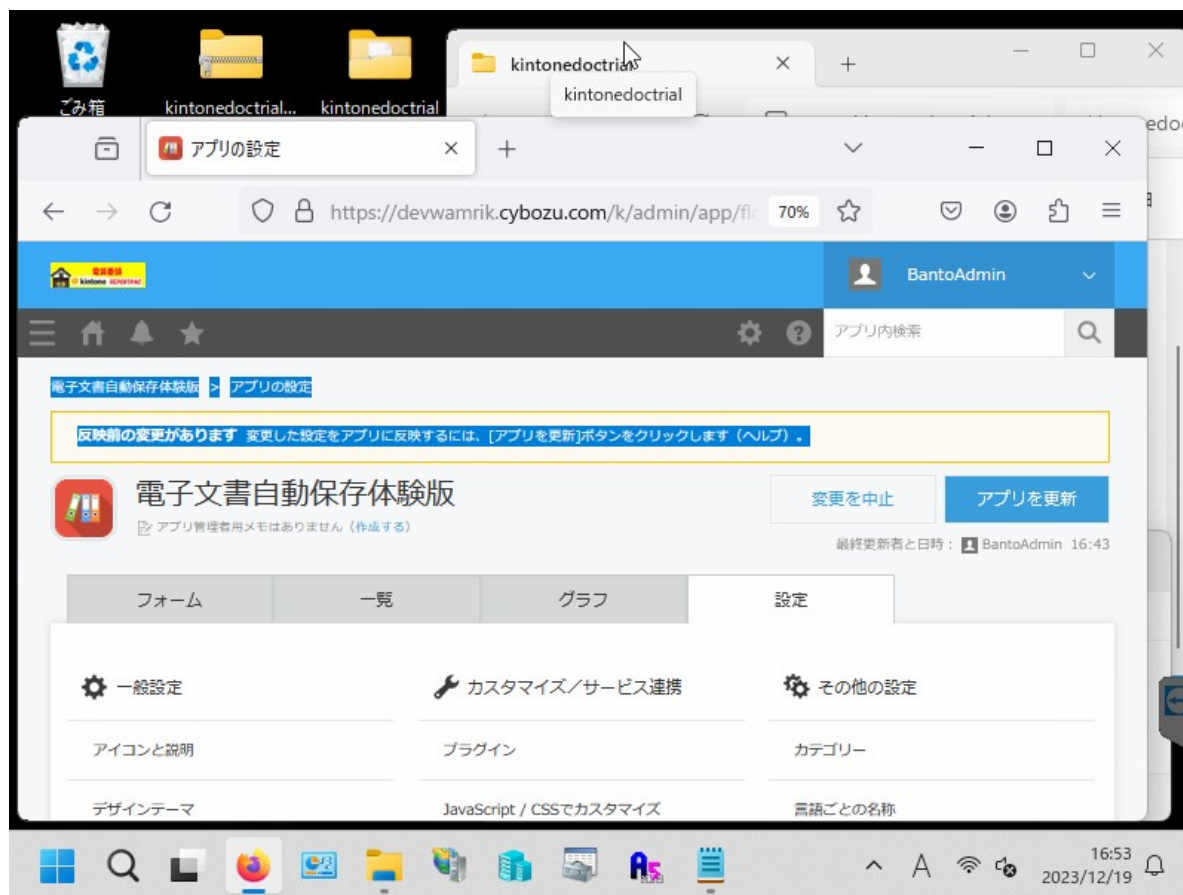
後でサブドメイン・アプリ ID ・ API トークンの3つが必要になるので確認しておきます



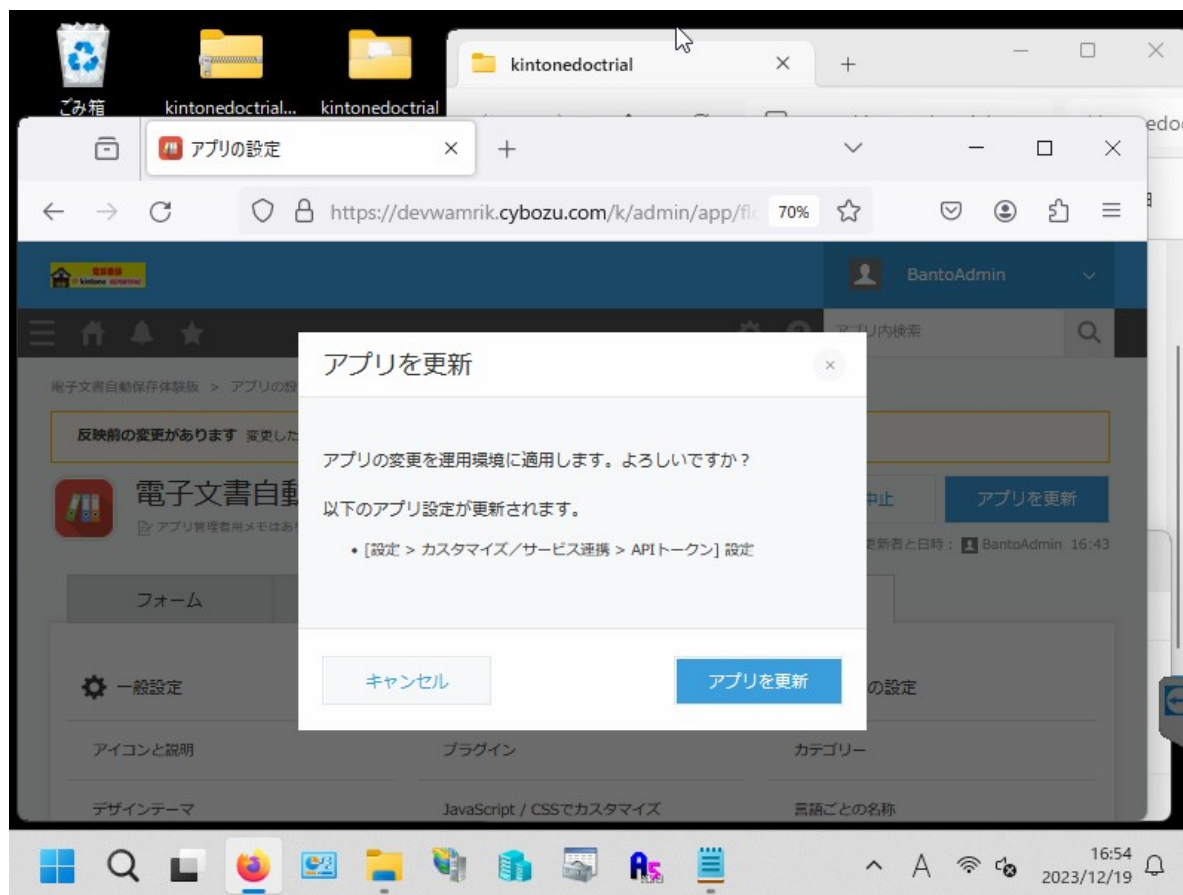
確認したら「保存」します



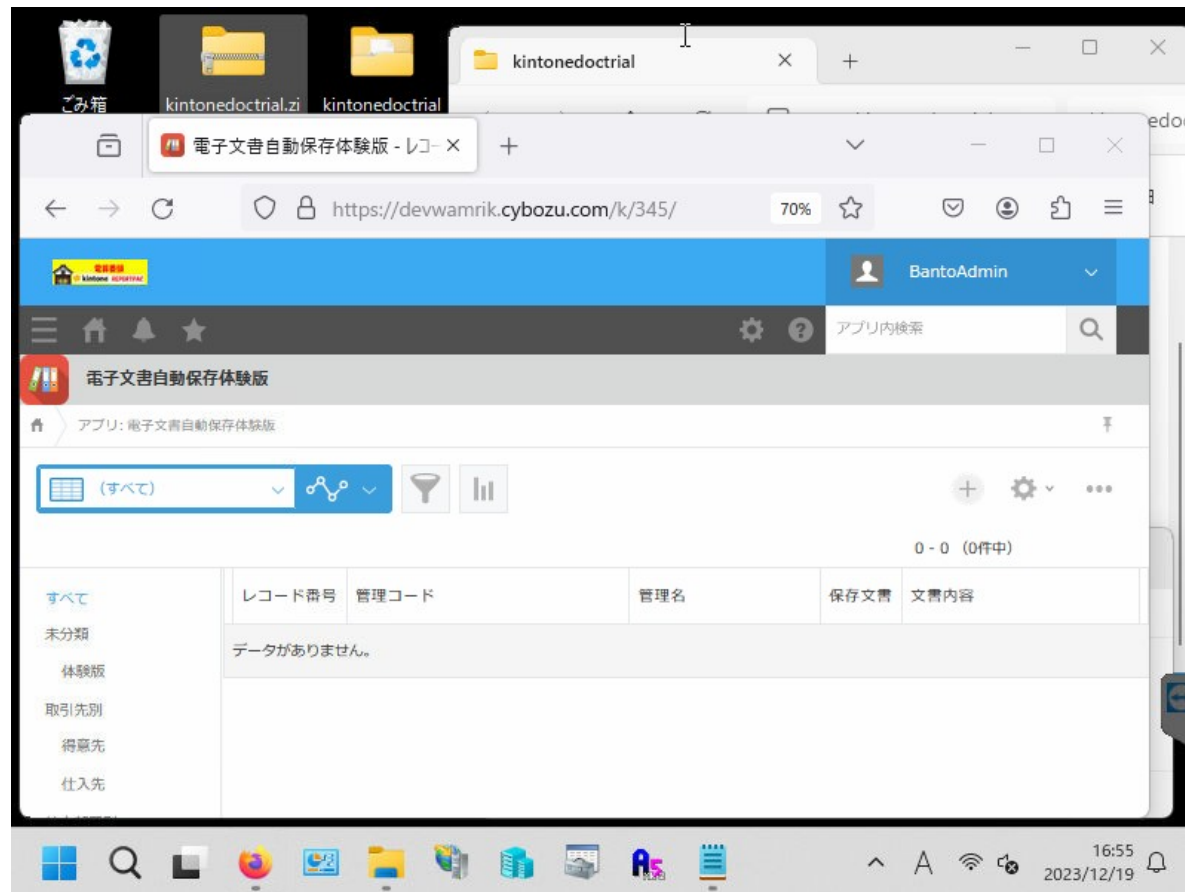
続けて「アプリの更新」



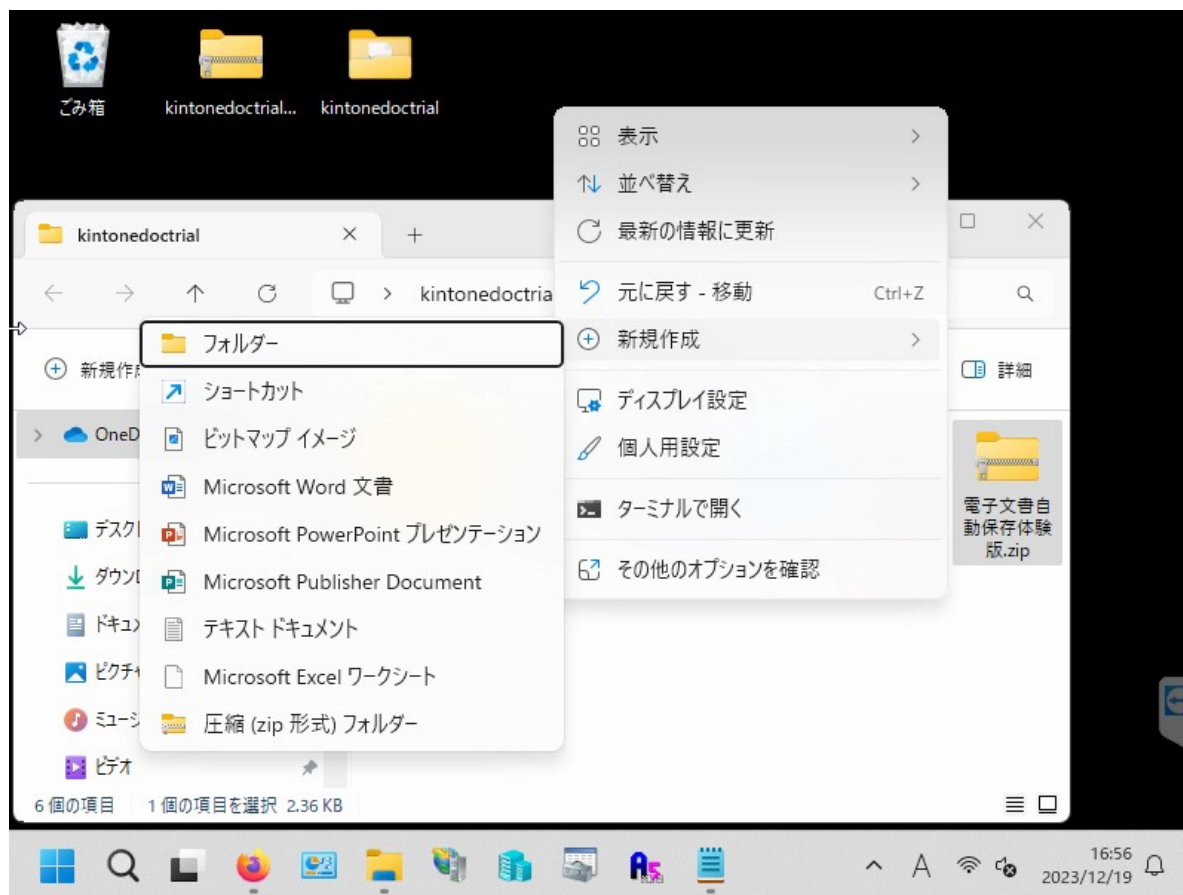
「アプリの更新」



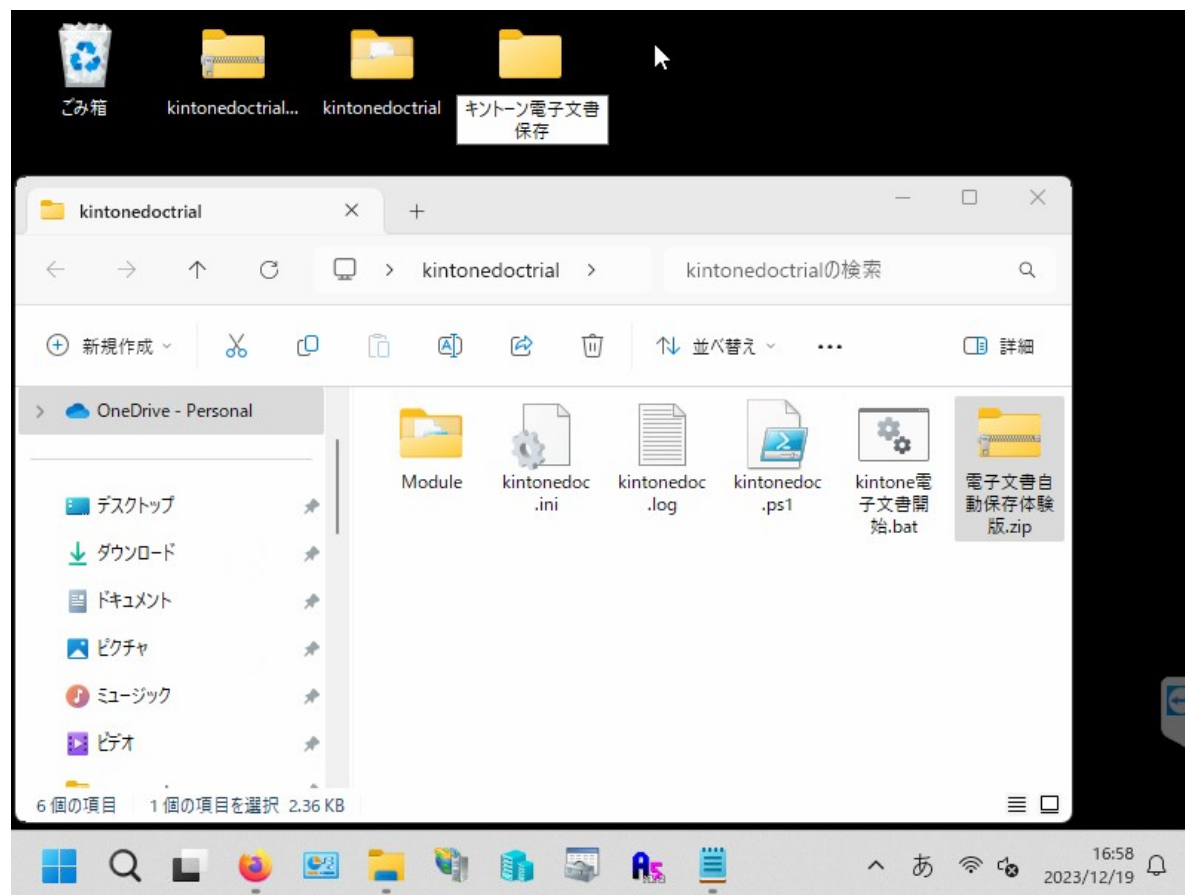
kintone 上での事前設定は以上です



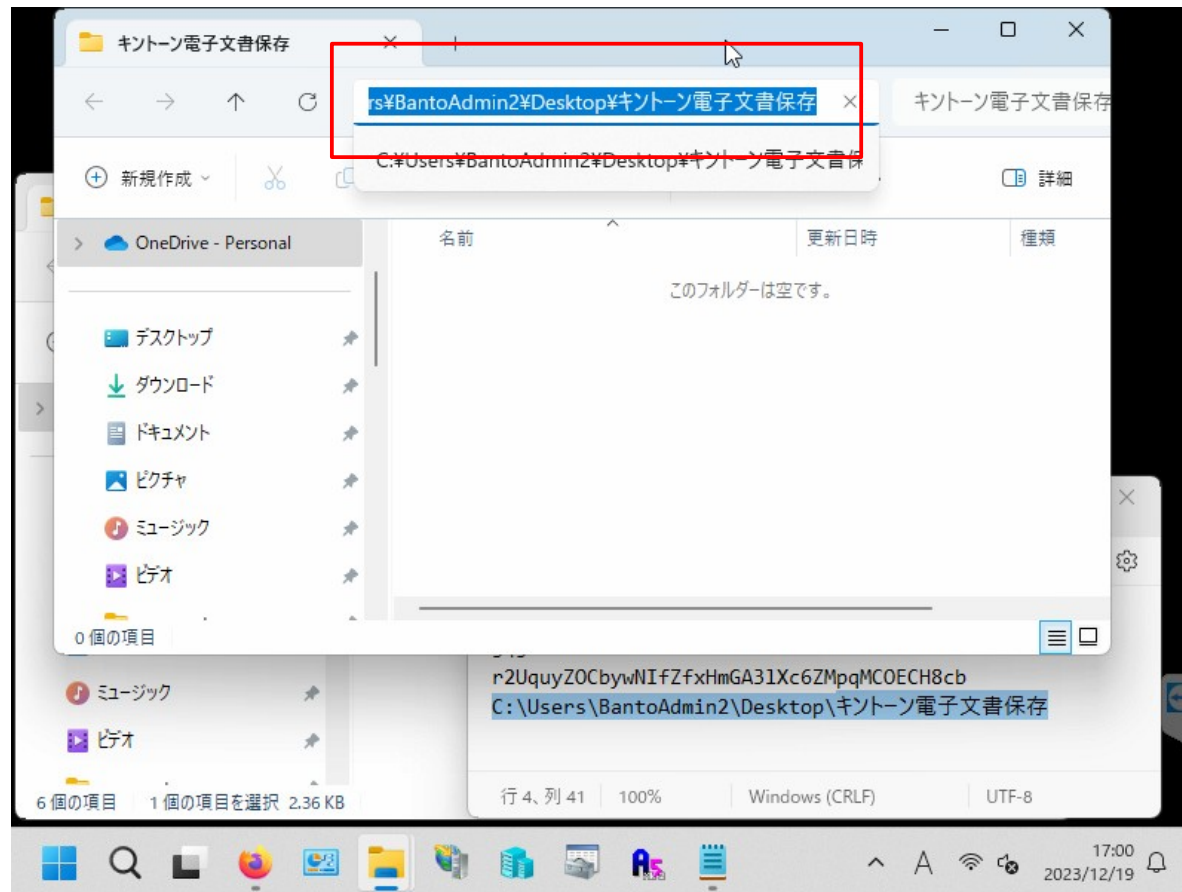
自パソコン内に新しいフォルダを作ります



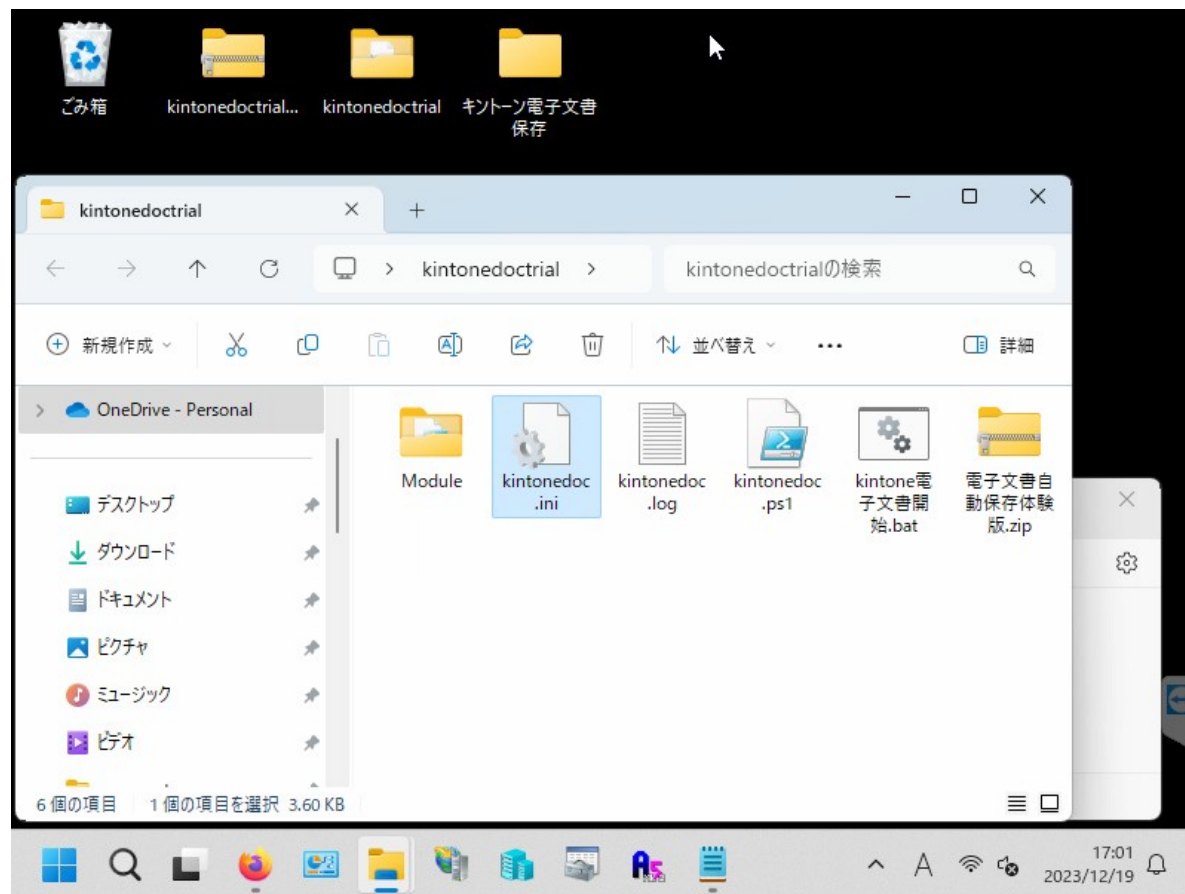
分かりやすく名前を付けたら



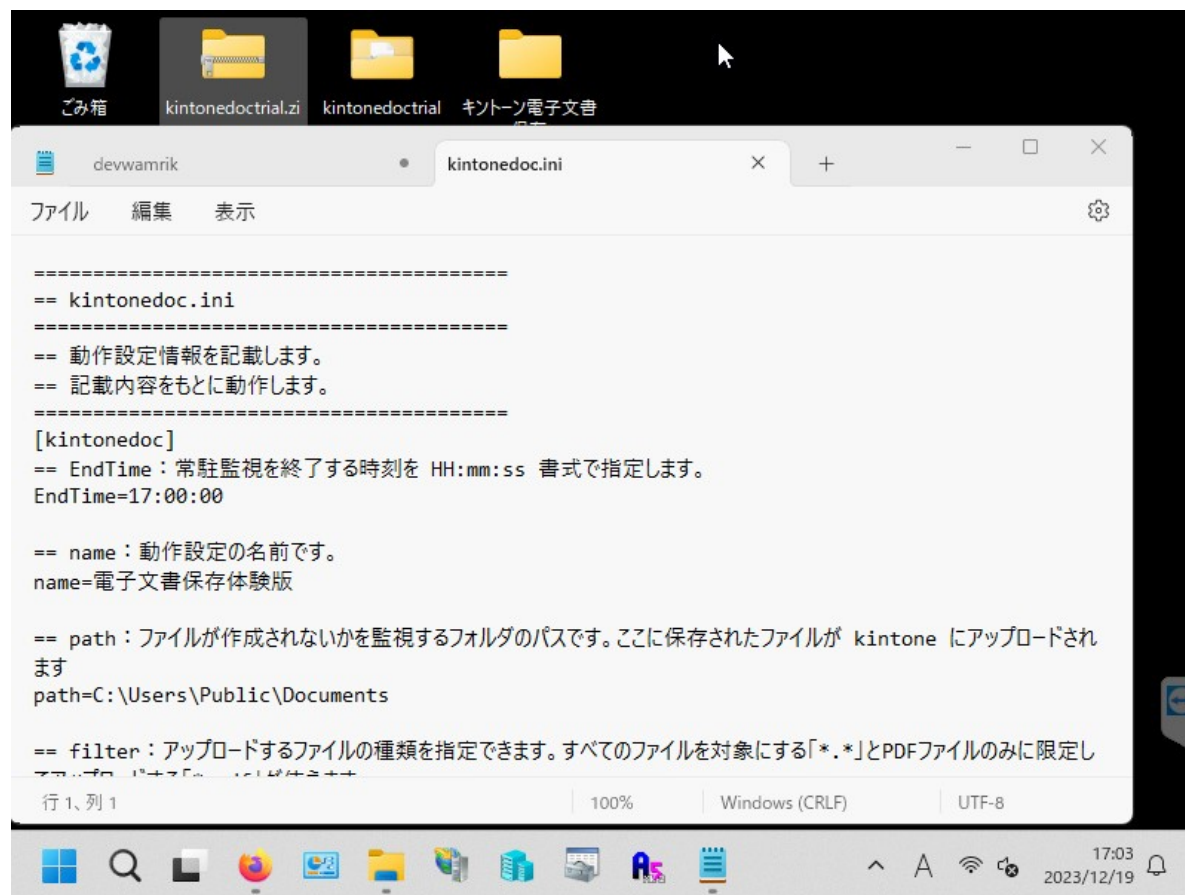
そのフォルダのパスを確認しておきます



展開したファイルの中から
設定ファイル（左下に歯車があるアイコン）を開きます



これまで確認した情報などを書き込んでいきます



```
=====
== kintonedoc.ini
=====
== 動作設定情報を記載します。
== 記載内容をもとに動作します。
=====
[kintonedoc]
== EndTime：常駐監視を終了する時刻を HH:mm:ss 書式で指定します。
EndTime=17:00:00

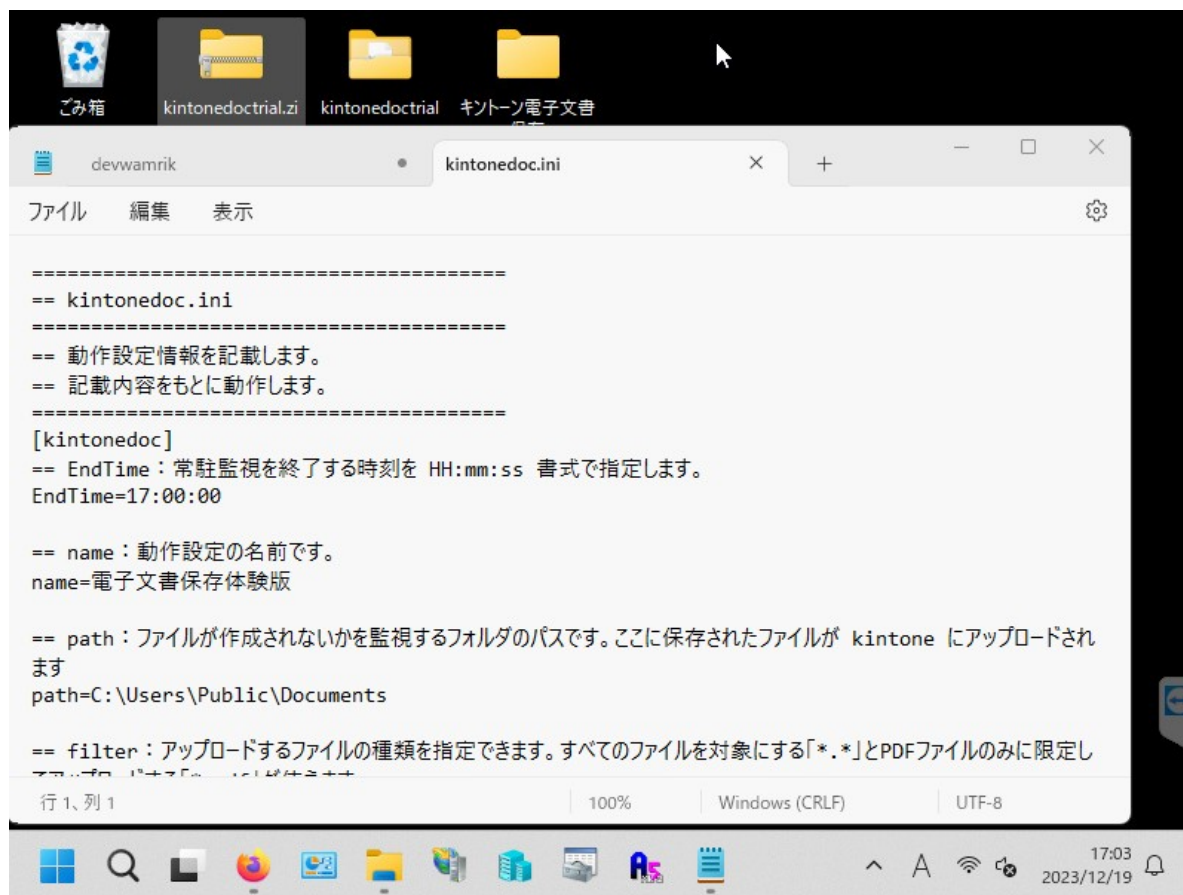
== name：動作設定の名前です。
name=電子文書保存体験版

== path：ファイルが作成されないかを監視するフォルダのパスです。ここに保存されたファイルが kintone にアップロードされます
path=C:\Users\Public\Documents

== filter：アップロードするファイルの種類を指定できます。すべてのファイルを対象にする「*.*」とPDFファイルのみに限定し
filter=*.pdf

行 1、列 1
```

EndTime は常駐を終了する時刻の設定です。
name は設定名です。 この2つは変更しません



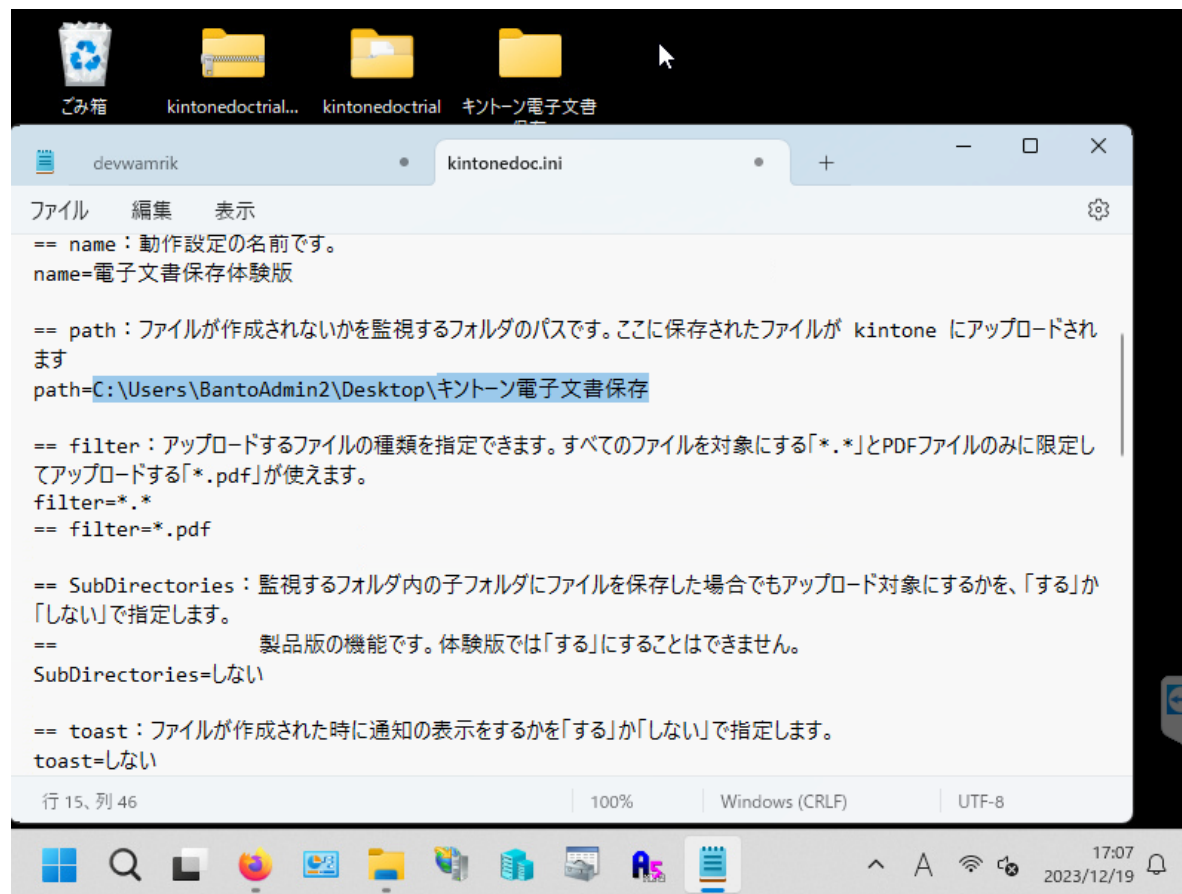
```
=====
== kintonedoc.ini
=====
== 動作設定情報を記載します。
== 記載内容をもとに動作します。
=====
[kintonedoc]
== EndTime：常駐監視を終了する時刻を HH:mm:ss 書式で指定します。
EndTime=17:00:00

== name：動作設定の名前です。
name=電子文書保存体験版

== path：ファイルが作成されないかを監視するフォルダのパスです。ここに保存されたファイルが kintone にアップロードされます
path=C:\Users\Public\Documents

== filter：アップロードするファイルの種類を指定できます。すべてのファイルを対象にする「*.*」とPDFファイルのみに限定し
=====
行 1、列 1
```

path に先ほどのフォルダパスを書き込みます



```
ファイル 編集 表示
== name : 動作設定の名前です。
name=電子文書保存体験版

== path : ファイルが作成されないかを監視するフォルダのパスです。ここに保存されたファイルが kintone にアップロードされます
path=C:\Users\BantoAdmin2\Desktop\キントーン電子文書保存

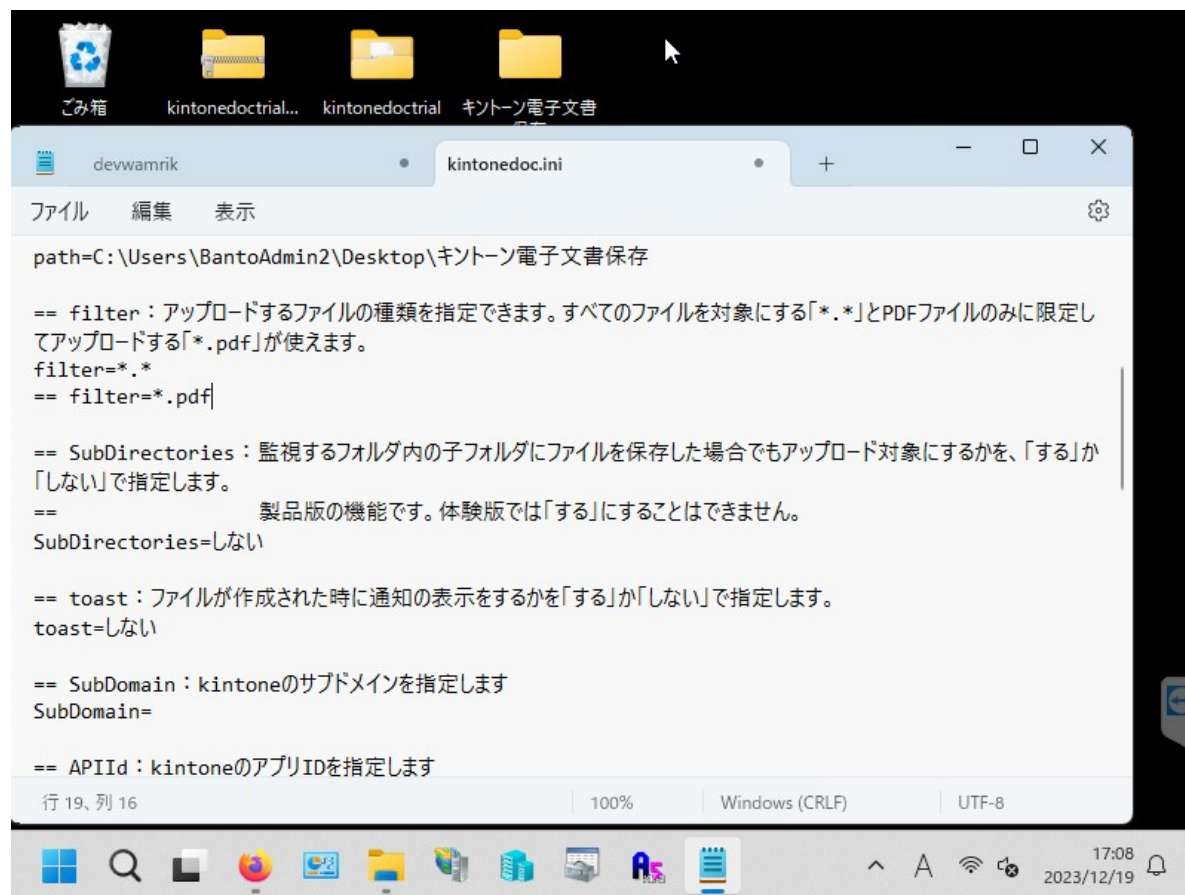
== filter : アップロードするファイルの種類を指定できます。すべてのファイルを対象にする「*.*」とPDFファイルのみに限定してアップロードする「*.pdf」が使えます。
filter=*.*
== filter=*.pdf

== SubDirectories : 監視するフォルダ内の子フォルダにファイルを保存した場合でもアップロード対象にするかを、「する」か「しない」で指定します。
==
製品版の機能です。体験版では「する」にすることはできません。
SubDirectories=しない

== toast : ファイルが作成された時に通知の表示をするかを「する」か「しない」で指定します。
toast=しない

行 15、列 46 | 100% | Windows (CRLF) | UTF-8
```

filter ・ SubDirectories ・ toast は そのまま変更しません



```
path=C:\Users\BantoAdmin2\Desktop\キントーン電子文書保存

== filter：アップロードするファイルの種類を指定できます。すべてのファイルを対象にする「*.*」とPDFファイルのみに限定してアップロードする「*.pdf」が使えます。
filter=*. *
== filter=*.pdf|

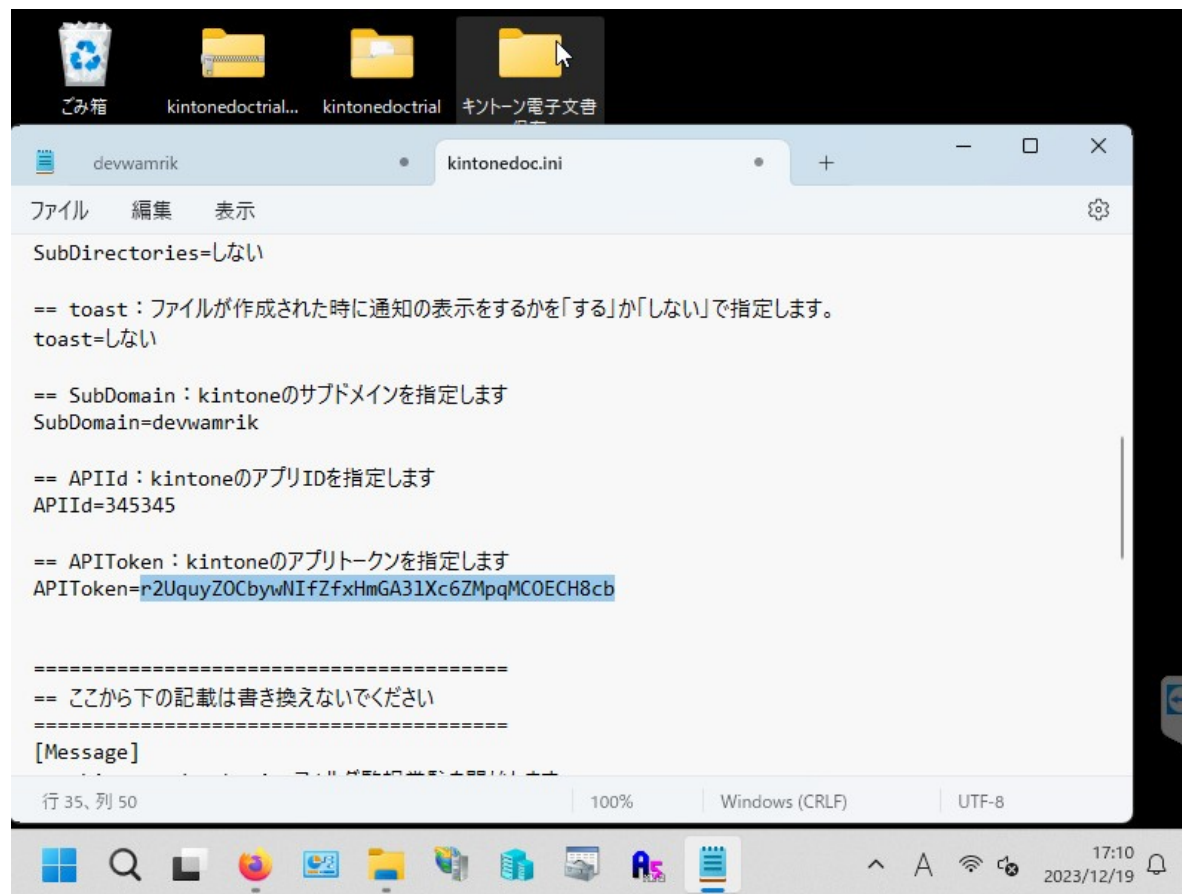
== SubDirectories：監視するフォルダ内の子フォルダにファイルを保存した場合でもアップロード対象にするかを、「する」か「しない」で指定します。
==
製品版の機能です。体験版では「する」にすることはできません。
SubDirectories=しない

== toast：ファイルが作成された時に通知の表示をするかを「する」か「しない」で指定します。
toast=しない

== SubDomain：kintoneのサブドメインを指定します
SubDomain=

== APIId：kintoneのアプリIDを指定します
```


SubDomain ・ APPID ・ APIToken に kintone で確認した各値を書き加えます



```
SubDirectories=しない

== toast : ファイルが作成された時に通知の表示をするかを「する」か「しない」で指定します。
toast=しない

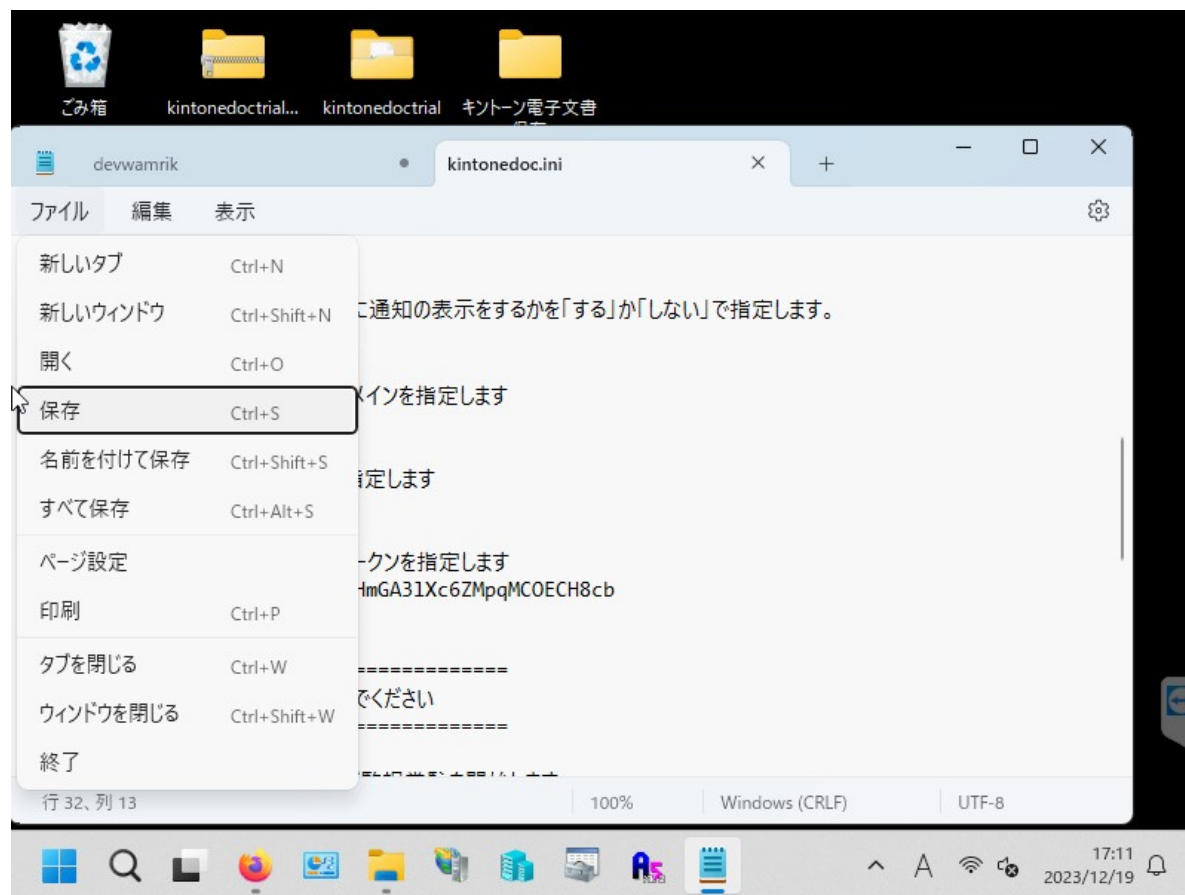
== SubDomain : kintoneのサブドメインを指定します
SubDomain=devwamrik

== APIId : kintoneのアプリIDを指定します
APIId=345345

== APIToken : kintoneのアプリトークンを指定します
APIToken=r2UqyZ0CbywNIffxHmGA31Xc6ZMpQMC0ECH8cb

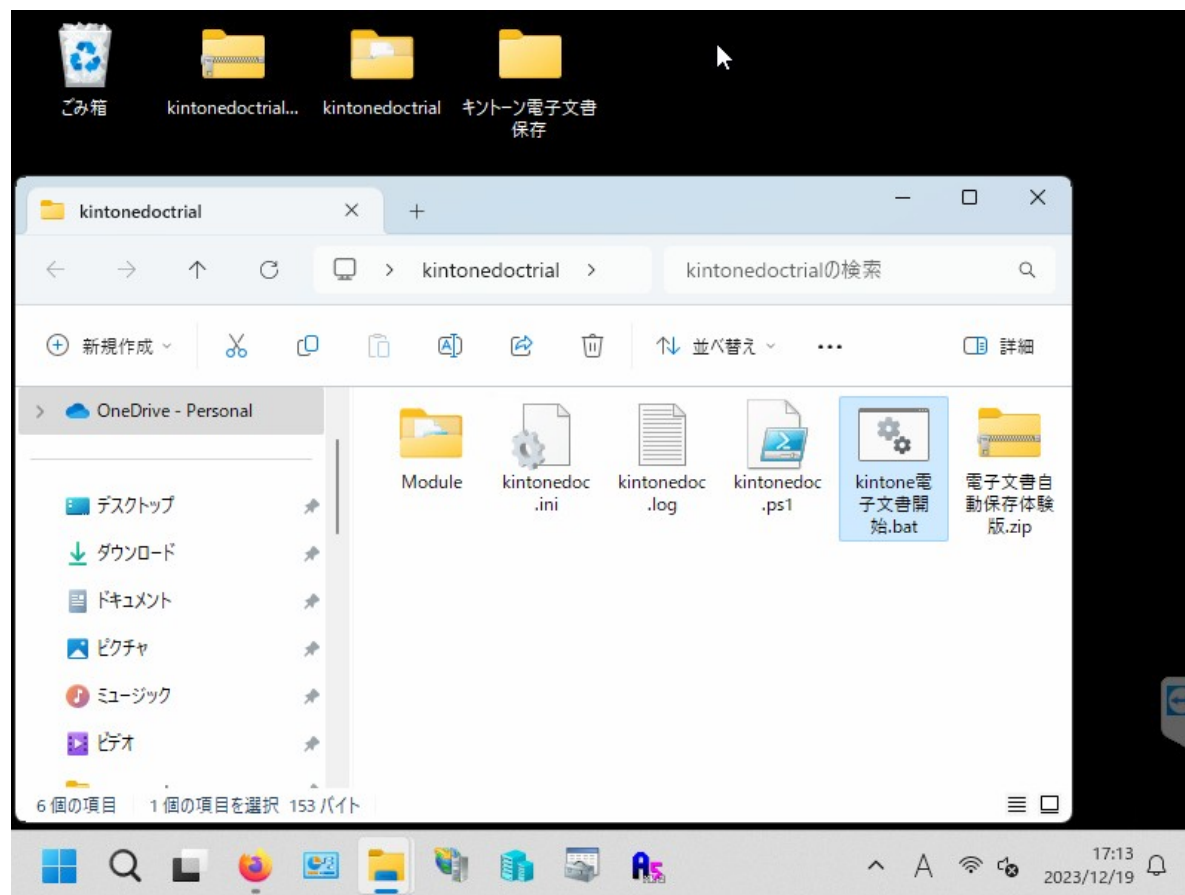
=====
== ここから下の記載は書き換えしないでください
=====
[Message]
```


書き終わったら保存します

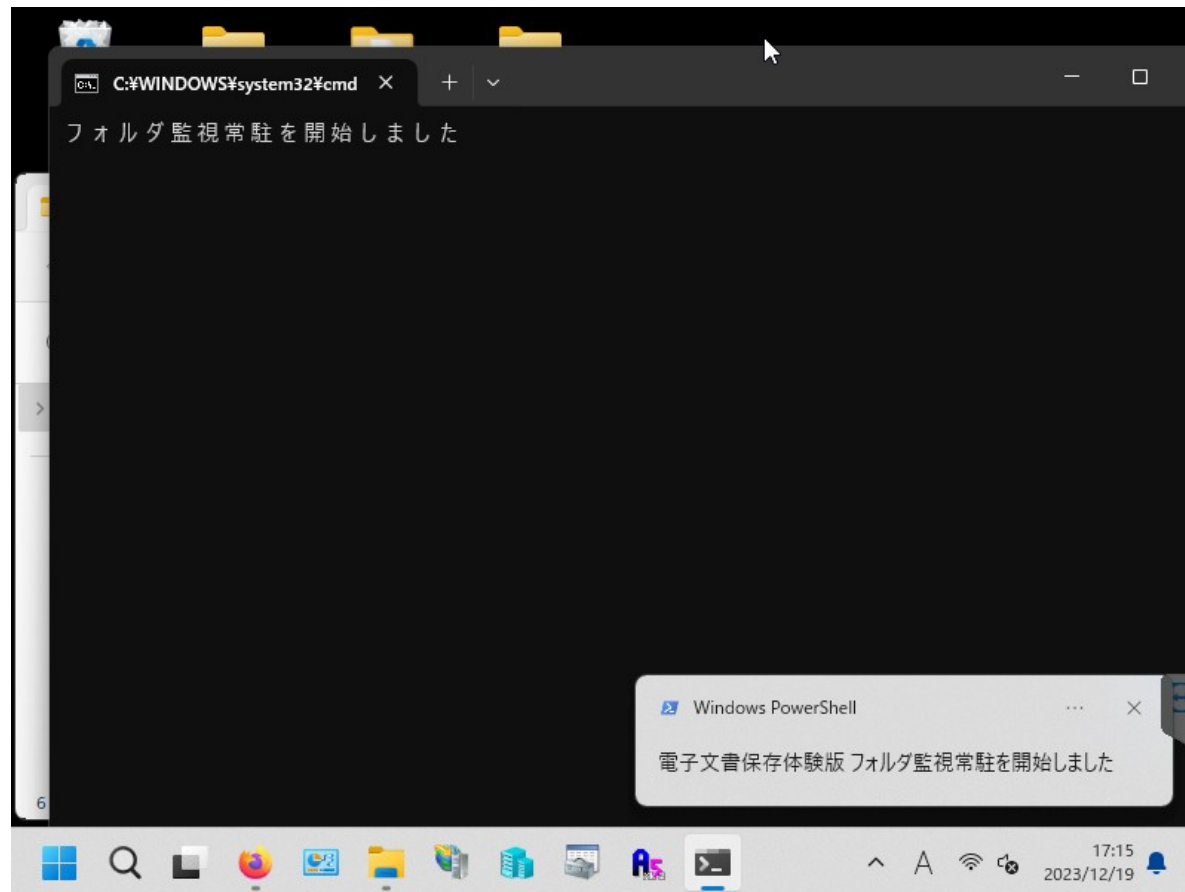


事前設定は以上です
次は実際に使います

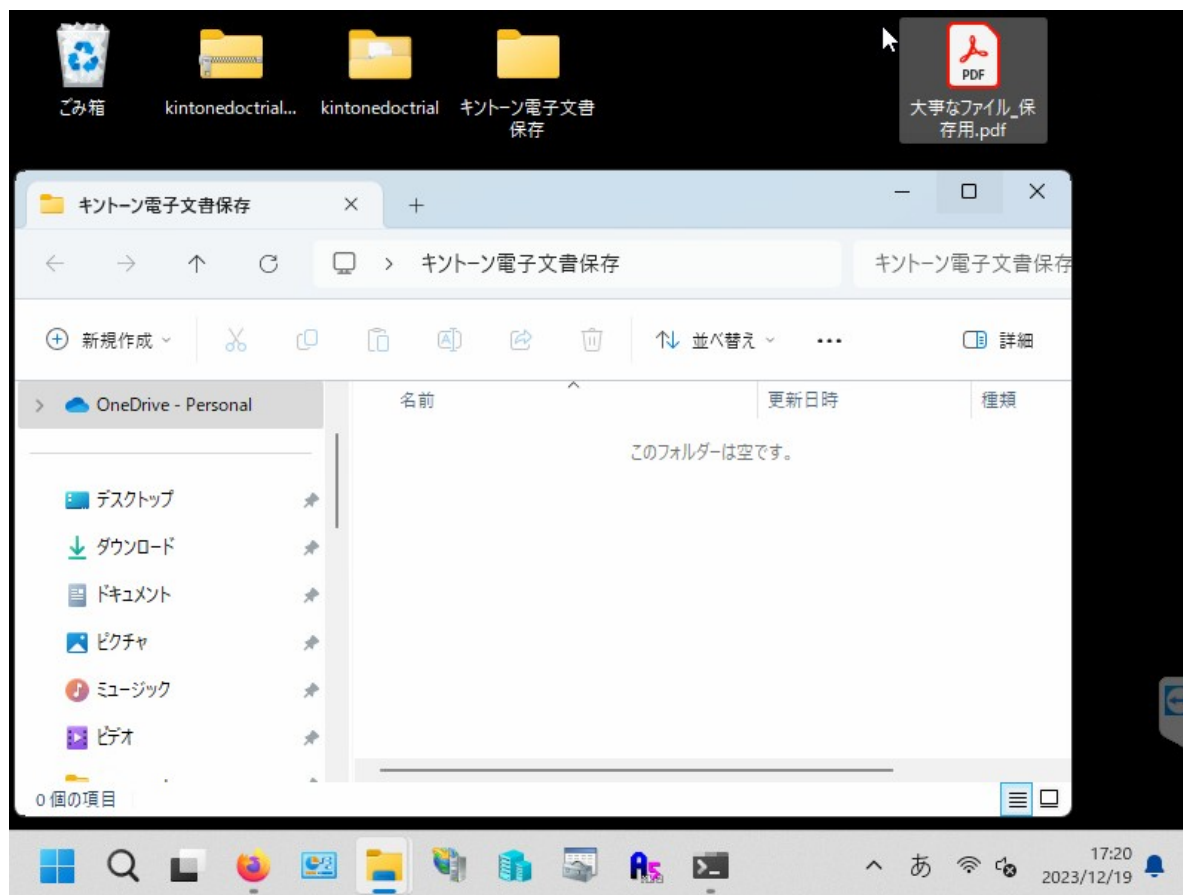
展開したファイルから「**kintone** 電子文書開始」をダブルクリックして開始します



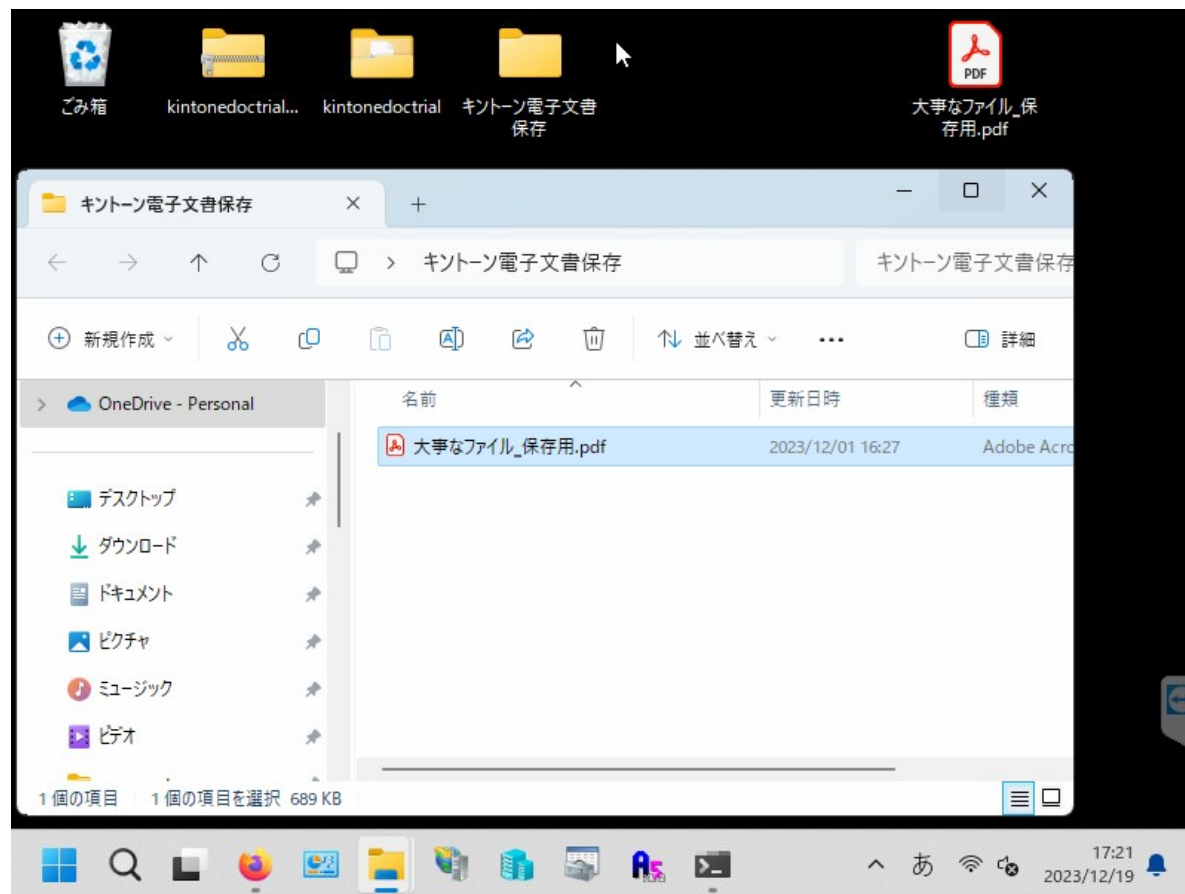
黒い画面が表示され、「～開始しました」と出ると
正しく開始しています。そのまま「最小化」してください。



作成したフォルダにファイルをコピーします

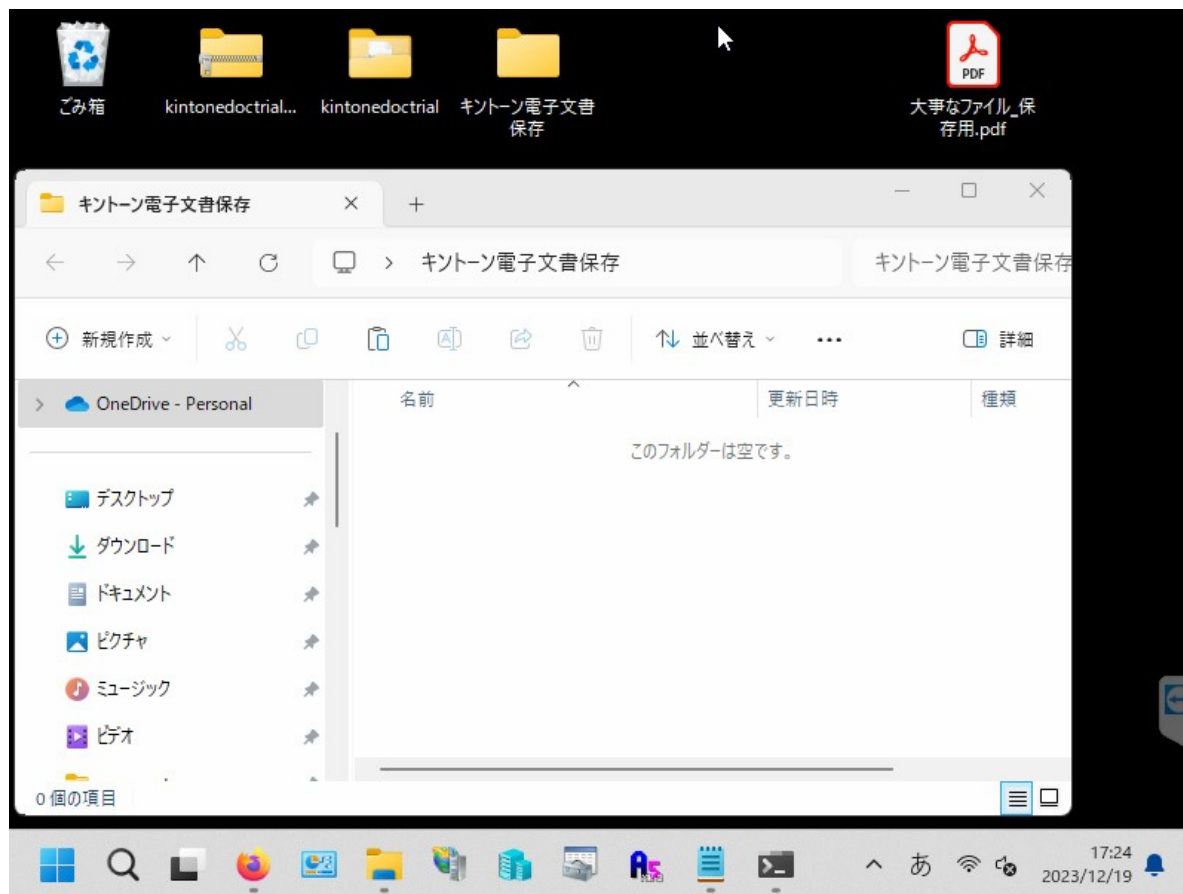


コピーしたファイルは

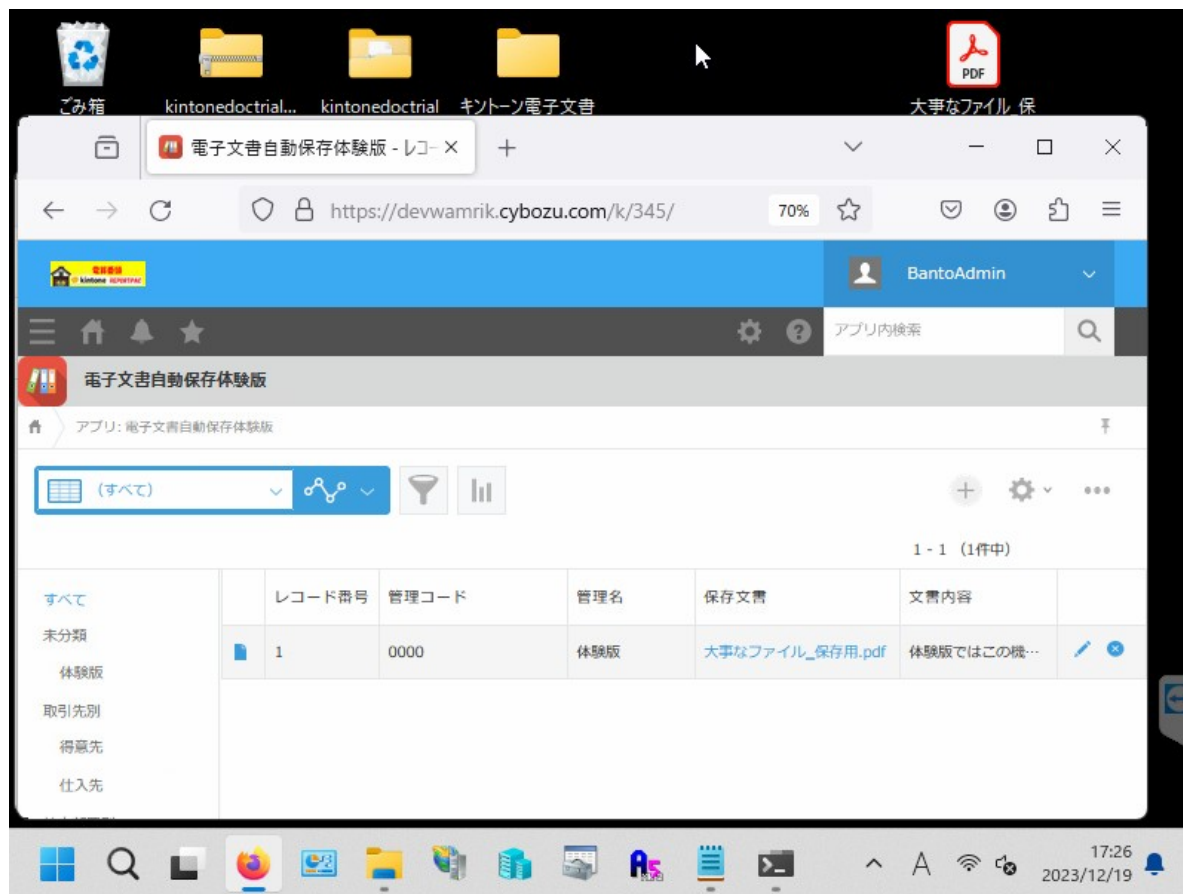


kintone に保存できると自動で削除されます。

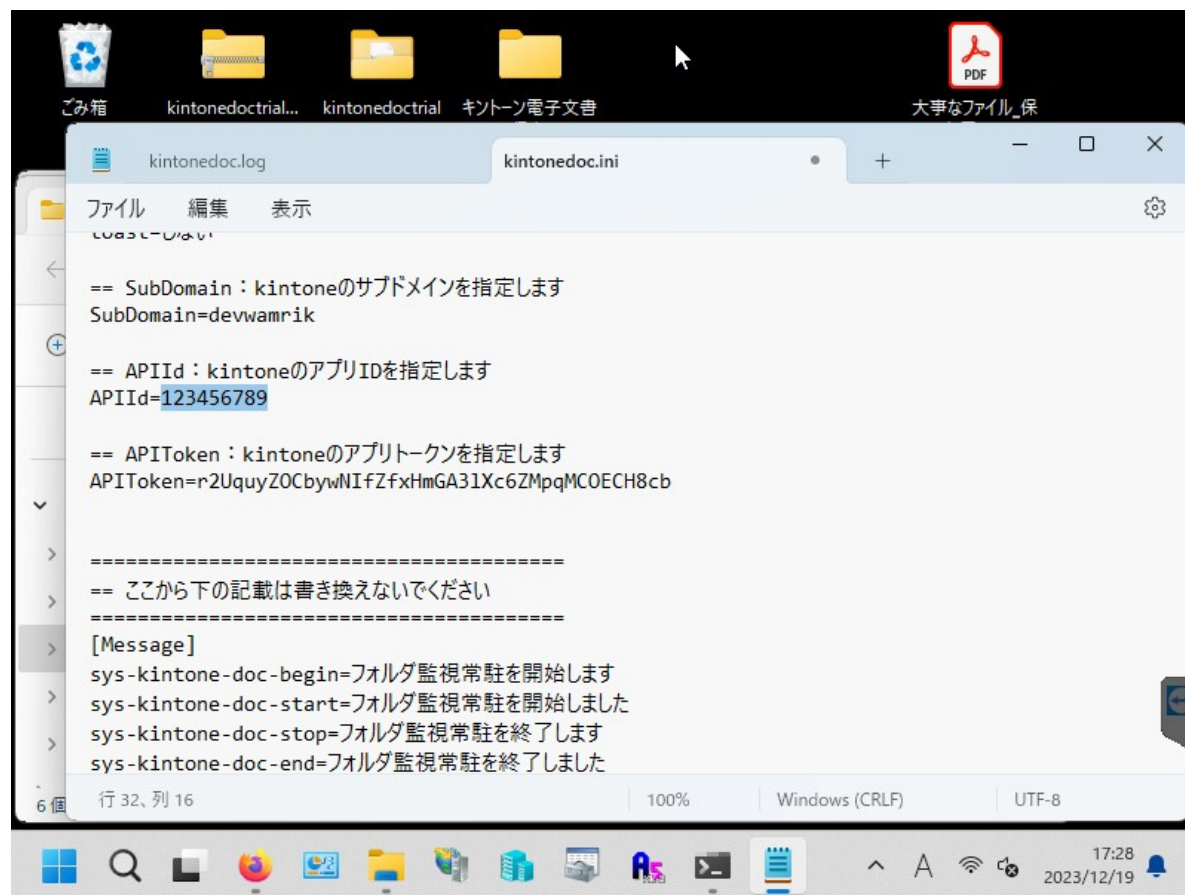
ファイルサイズによって 3 ～ 十数秒で保存します



実際に保存されています



問題が生じた時はファイル削除されません。
設定が間違っていないか確認してください



The screenshot shows a Windows File Explorer window with the file 'kintonedoc.ini' open. The file contains configuration settings for Kintone, including SubDomain, APIId, and APIToken. The APIId '123456789' is highlighted in blue. The file also contains a section for system messages related to folder monitoring.

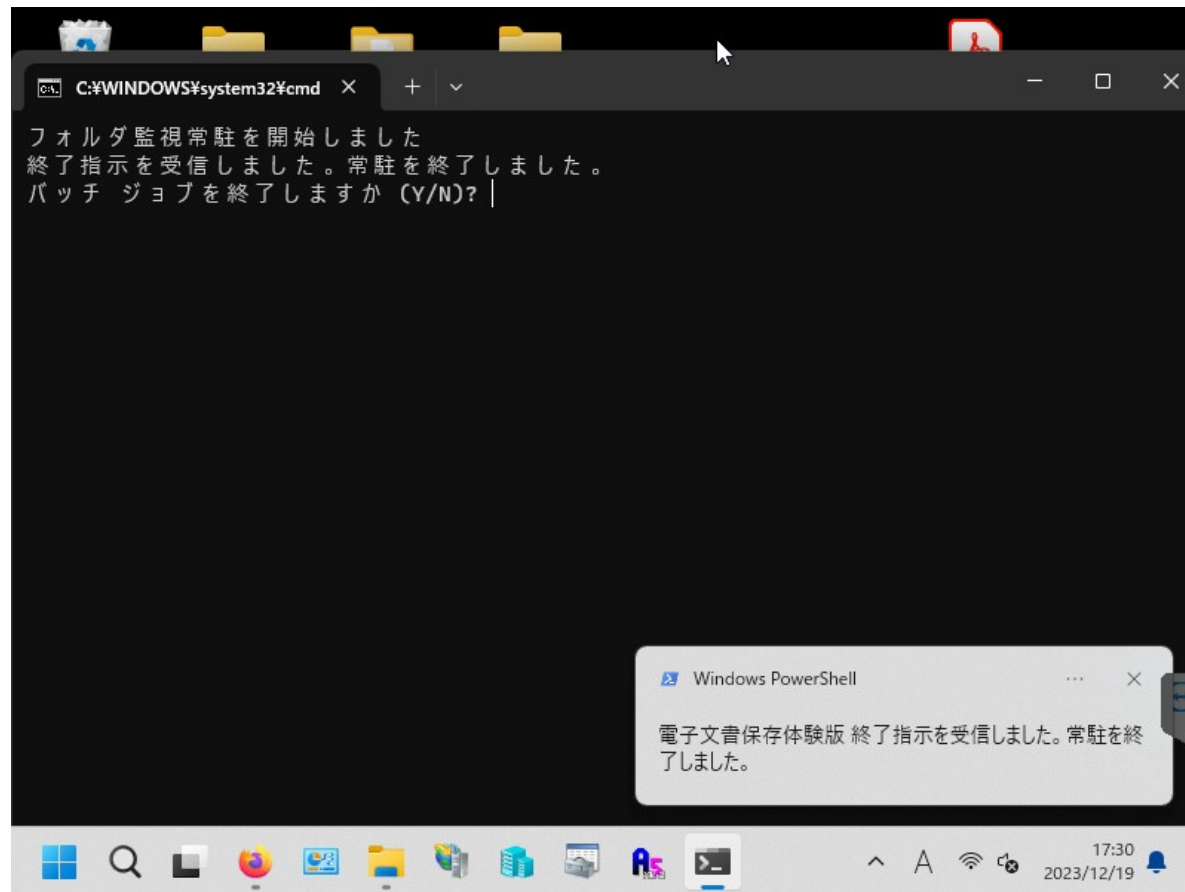
```
== SubDomain : kintoneのサブドメインを指定します  
SubDomain=devwamrik  
  
== APIId : kintoneのアプリIDを指定します  
APIId=123456789  
  
== APIToken : kintoneのアプリトークンを指定します  
APIToken=r2UquyZ0CbywNIfZfxHmGA31Xc6ZMpqMCOECH8cb  
  
=====
```

== ここから下の記載は書き換えないでください
=====

[Message]
sys-kintone-doc-begin=フォルダ監視常駐を開始します
sys-kintone-doc-start=フォルダ監視常駐を開始しました
sys-kintone-doc-stop=フォルダ監視常駐を終了します
sys-kintone-doc-end=フォルダ監視常駐を終了しました

6個 行 32、列 16 100% Windows (CRLF) UTF-8

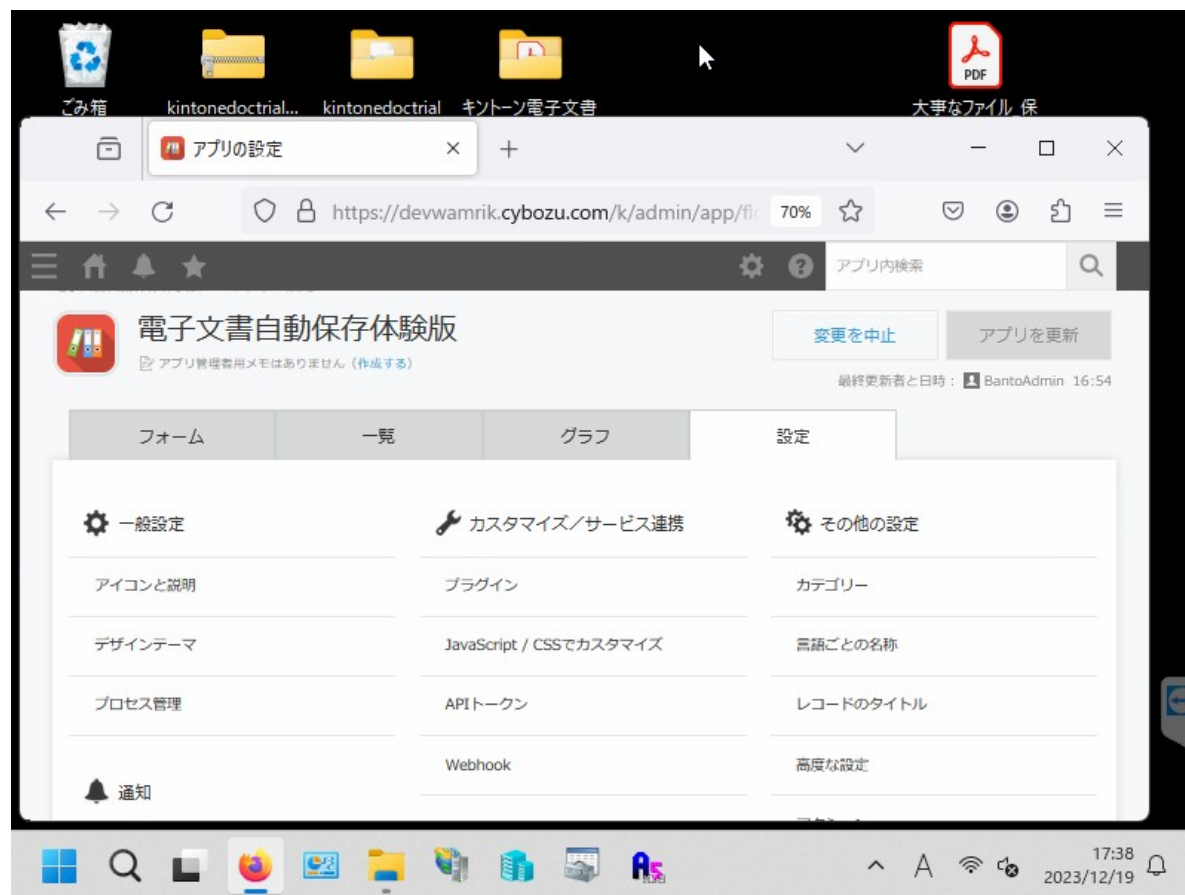
黒い画面で **Ctrl** キーを押しながら **C** キーを押すとプログラムを終了します。**Y** を入力して **Enter** で画面は閉じます



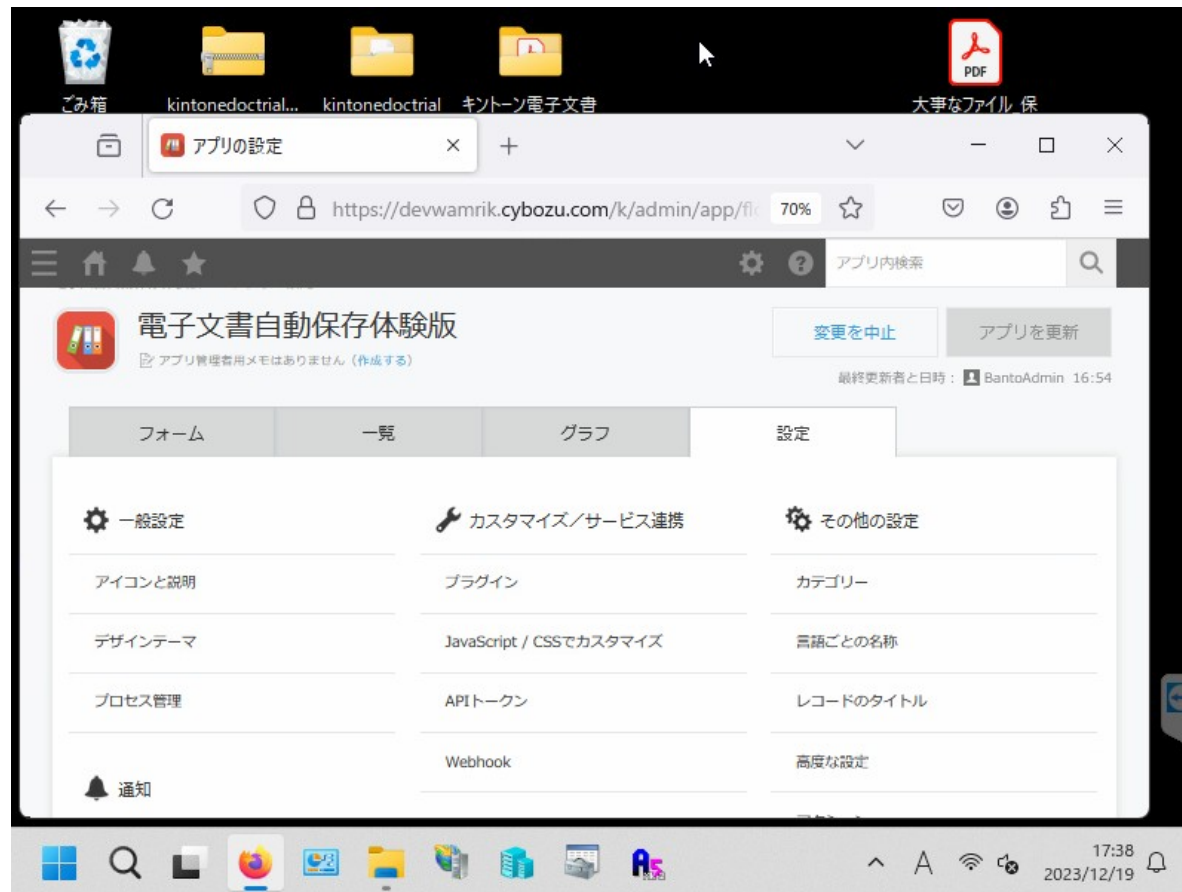
Ctrl + C をしなくても、終了時刻が来たり **PC** をシャットダウンしたり、黒い画面を × で閉じてても終了させることができます。

実際の利用は以上です
次は削除の仕方です

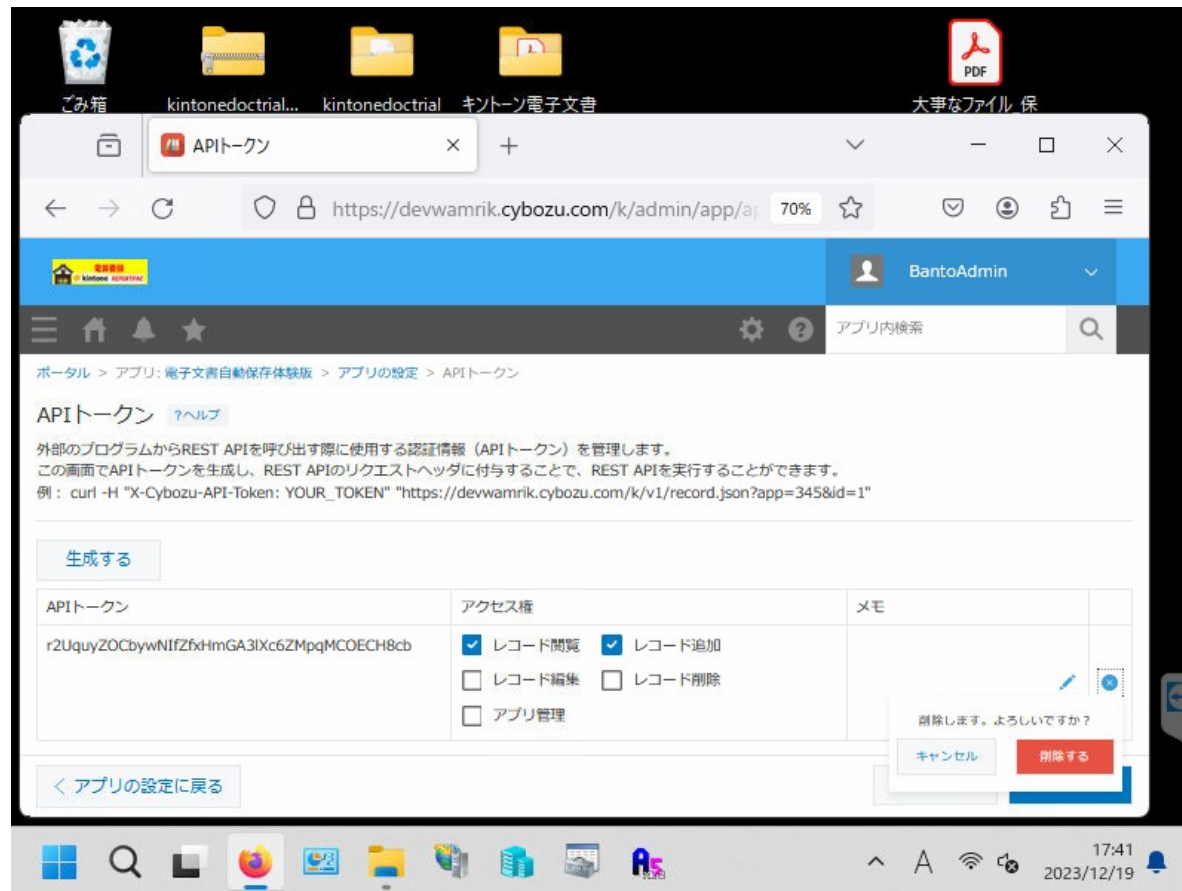
体験版の利用をやめる時はファイルやアプリの削除などをします
まずは **kintone** アプリの設定を開きます



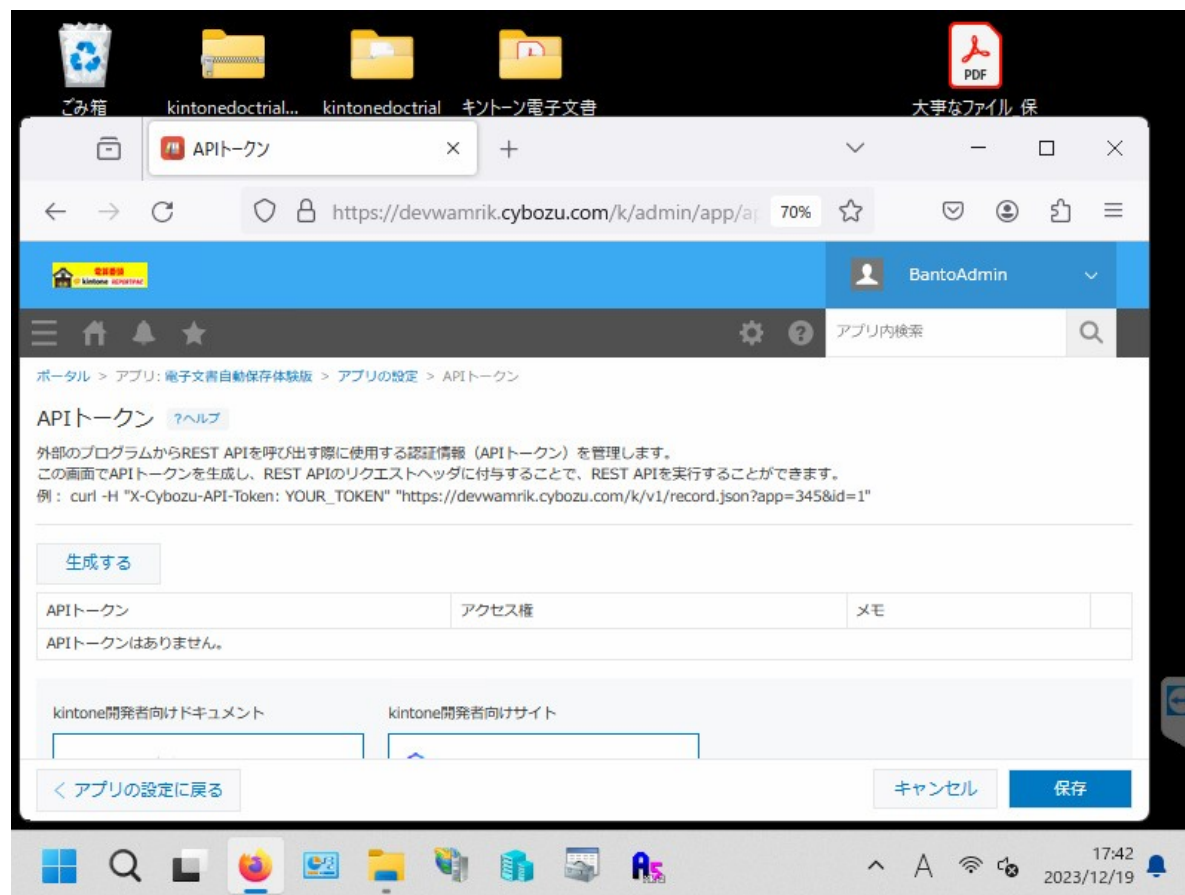
自動保存だけやめる場合は「**API トークン**」を開きます



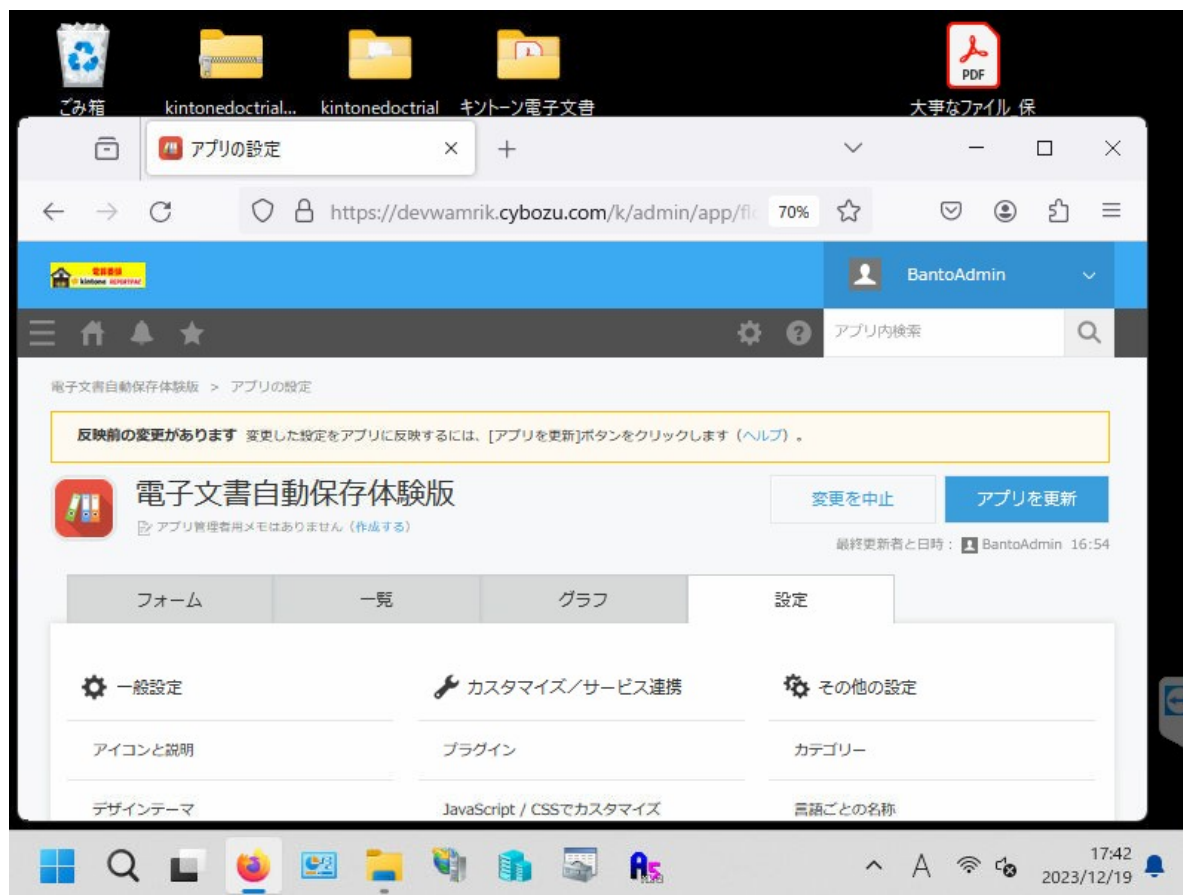
体験版用のトークンの右の削除アイコンをクリックし「削除する」を選びます



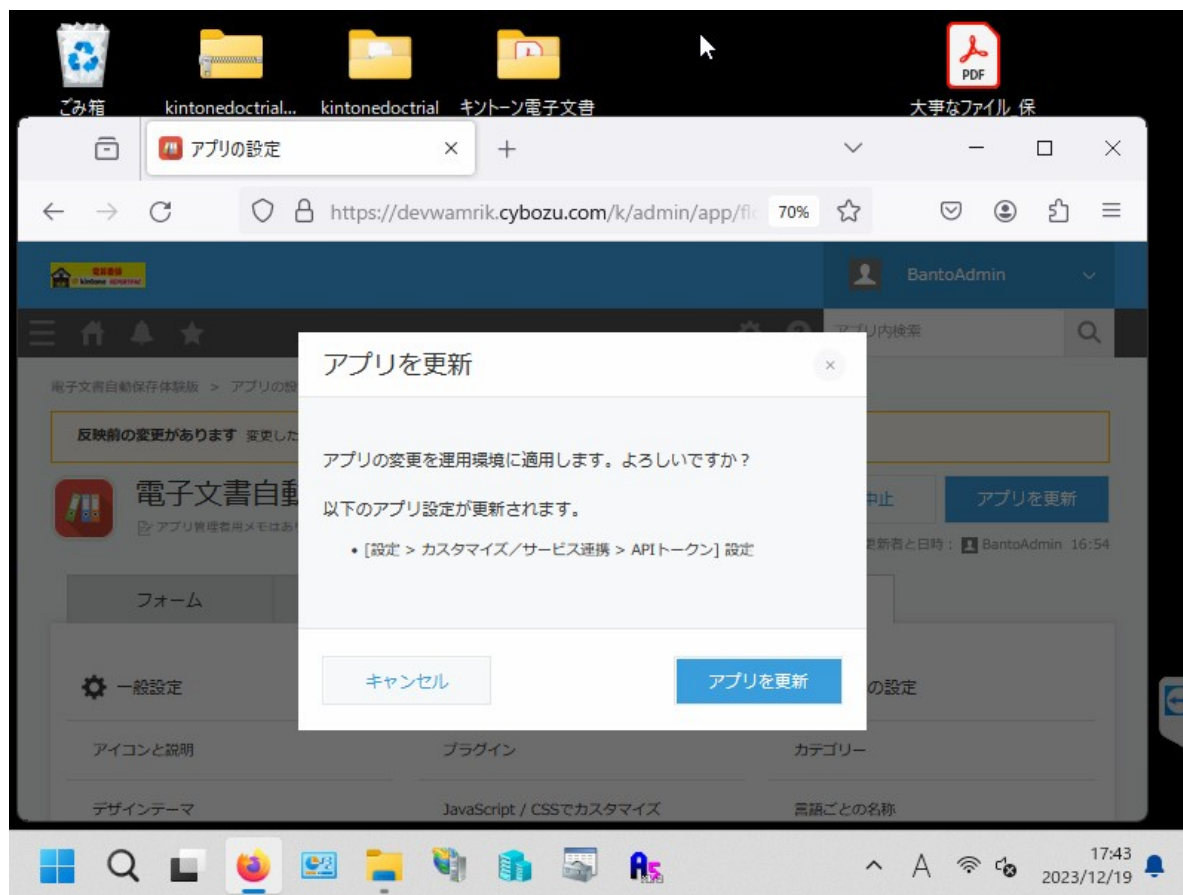
体験版用トークンが一覧からなくなったことを確認して「保存」



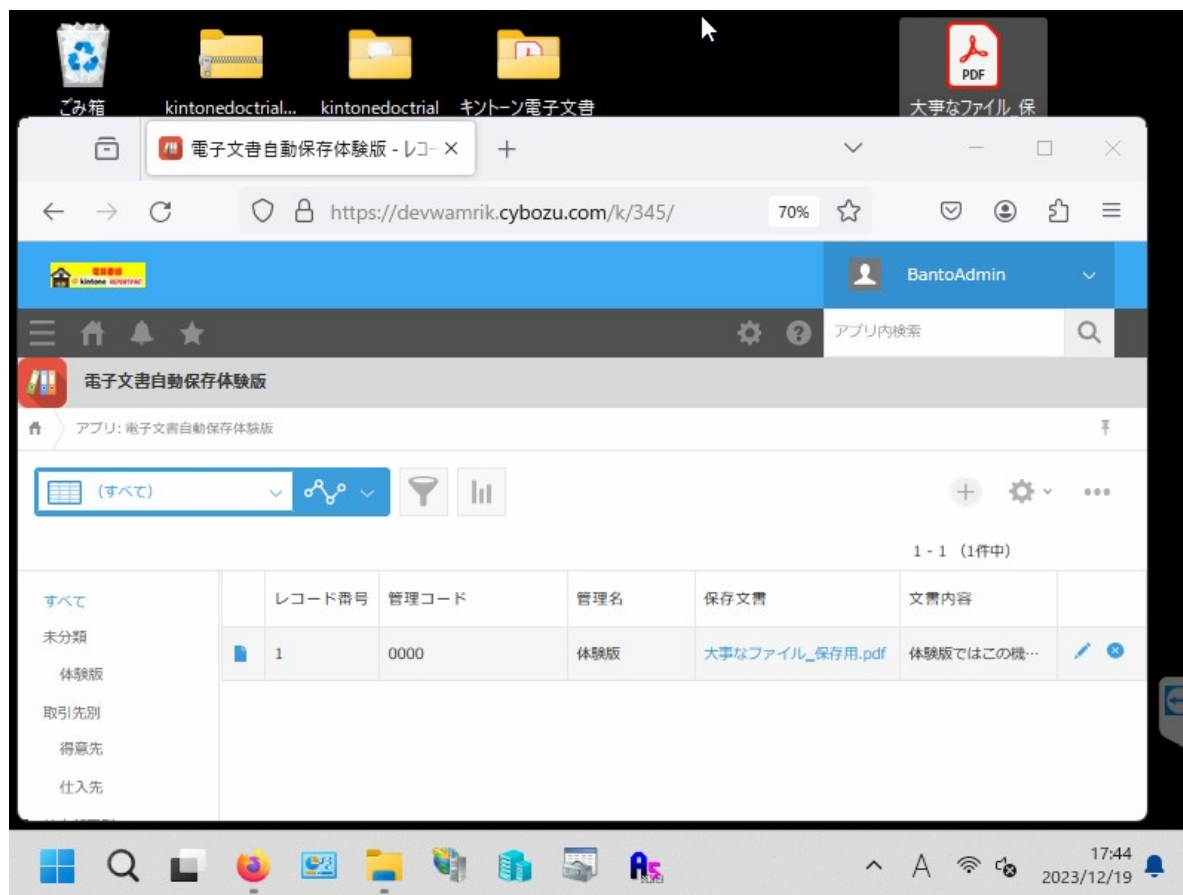
「アプリを更新」



「アプリを更新」



保存されました。アプリ自体が不要の場合は通常の **kintone** アプリ削除の手順で削除してください。



ダウンロードしたファイルや監視用フォルダはそのまま削除します
削除は以上で終了です

